CentreCOM<sup>™</sup> LM33-PCM-T

**ユーザーズマニュアル**2

# Windows NT® 4.0 インストールガイド



Copyright 1997 アライドテレシス(株)

CentreCOM LM33-PCM-T をご購入いただき、誠にありがとうございます。 この文書は、本製品を<u>Windows NT Ver.4.0 搭載の AT 互換機 (PC-AT)</u>でご 使用いただくための手引きです。「LM33-PCM-T ユーザーズマニュアル」と 併せてお読みください。

### 本文書は以下の仮定のもとに記述されています

- [1] 本文中では各ドライブ名を、フロッピーディスクドライブを A:、インストール先 ドライブを C:、CD-ROM ドライブを E:と仮定しています。
- [2] Windows NT Ver.4.0 はご使用のコンピュータに既にインストールされているものとします。

#### 本製品は PC-98 およびその互換機ではご使用になれません

本製品の Windows NT 用 NDIS ドライバーは AT 互換機(PC-AT、DOS/V 搭載機)専用です。NEC PC-98 シリーズおよびその互換機ではご使用できませんのでご注意下さい。

# 本文書に関するご注意

- (1) 本文書は、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を コピーすることを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本文書の一部または全体を修正、変更すること がありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更、改良することが ありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負 いかねますのでご了承ください。
- (C) 1997 アライドテレシス株式会社

### 商標について

CentreCOM はアライドテレシス株式会社の商標です。 Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOS は米国 Microsoft Corporation の登録 商標です。 MNP は Microcom, Inc. の登録商標です。 NIFTY-Serve はニフティ株式会社の商標です。 BEKKOAME/INTERNET は株式会社ベッコアメ・インターネットの商標です。 その他、この文書に掲載されているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの 商標または登録商標です。

# マニュアルバージョン

1997年08月 Ver.1.0 pl 0 1st release

# 本文書の使い方

本製品添付の「LM33-PCM-T ユーザーズマニュアル」は Windows 95の環境でのご使 用を前提に記述、構成されています。本文書「Windows NT 4.0 インストールガイド」 は本製品の Windows NT 4.0 対応に伴い、「ユーザーズマニュアル」の補足文書として 作成されたものです。Windows NT 4.0 で本製品を使用する際には下図を参考にして、 両冊子を併せてお読みください。



ユーザーズマニュアル第5部および第6部はWindows95でのご使用に特化した内容になっています。

本マニュアルでは、各用語を以下の意味で使用しています。

コンピュータ	本製品を接続して通信を行う機器全般を指します。
	パソコン・DTE・端末などすべてを含みます。
通信ソフト	市販のパソコン用通信ソフトウェアのことです。
AT <b>互換機</b>	DOS/V 搭載機種、PC-AT
移動体通信	携帯電話(アナログ式・デジタル式)と PHS をまとめて移動体通信
	と表記しています。
Windows NT	Microsoft Windows NT Operating System Ver.4.0 Workstation
	for PC-AT のこと
LAN <b>機能</b>	本製品のネットワークアダプター機能のことを特に「LAN 機能」と
	呼んでモデム機能と区別しています。

	本文書に関するご注意
1	<b>準備と確認</b> 1
2	<b>インストールの概要</b>
3	LM33-PCM-T のインストール    4      3.1 準備    4      3.2 COM ポート番号について    4      3.3 インストール手順    5      step1. モデムカードの認識    5      step2. ハードウェアリソースの確認    7      step3. 「ネットワーク」の設定    10      step5. 「シリアルポート」の設定    23      step6. リソース値の確認    25
4	<b>モデムの詳細設定</b> 27 4.1 インストールの確認 27 4.2 通信に関する設定 30
5	登録内容の削除と再インストール    33      5.1 概要    33      5.2 手順    34      step.1 LAN機能の削除    34      step.2 モデム機能の削除    35      step.3 再起動~再インストール    36

vi

6	BBS ^	の接続	.37
	6.1	接続までの流れ	37
	6.2	接続の手順	38
7	ダイヤ	ルアップ IP 接続	.44
	7.1	準備	44
	7.2	接続の手順	45
付	<b>禄</b> Wir	ndows NT <b>での注意事項</b>	.51

viii

# 1 準備と確認

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。 各操作・設定の手順については Windows NT のマニュアル・ヘルプをご覧ください。



Windows NT のハードウェア互換性リスト (Windows NT パッケージに同梱されています)に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



<u>ここに挙げた例は一例であり、お客様の使用するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。予めご了承ください</u>。



本製品のインストールを Windows NT のインストールと同時に行うことは 避けて下さい。必ず、<u>Windows NT のインストールを完了したあとで、本製</u> <u>品のインストールを行って下さい。</u>Windows NT は Plug&Play をサポート していないため、Windows NT と本製品のインストールを同時に行うと、 Windows NTのインストール中に本製品が使用するハードウェアリソースが 他のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがありま す。



Windows NTでは活線挿抜(コンピュータの電源を入れたままでカードの抜き挿しを行うこと)はできません。本製品の挿抜を行う際には必ずコン ピュータの電源がOFFになっていることをご確認下さい。誤って活線挿抜を 行った場合に起こった障害についてはユーザーサポートの対象外とさせてい ただきますので予めご了承ください。

# 2 インストールの概要

### 2.1 **ハードウェアリソースについて**

本製品は1枚のカードで2つの機能を持ち、それぞれが異なるハードウェアリソースを 使用して動作します。そのため、本製品をインストールする際にはリソースの競合につ いて特に注意を払う必要があります。特に、ご使用のコンピュータに既に多くのシリア ルデバイスや拡張アダプターがインストールされている場合はご注意下さい。

本製品をインストールする一連の作業における、ハードウェアリソースの振る舞いと注 意点は以下のようになります。

#### 1. モデム機能が使用するリソースを確認します。

本製品をPCカードスロットに挿入してWindows NTを起動すると、Windows NTは本製品のモデム機能のみを1つの独立したシリアルデバイスとみなし、COM ポート・IRQ・I/O Base Address を割り当てます。この、カードを挿入しただけの段階で、それらの割り当てられた値を「Windows NT 診断プログラム」で確認してください。

#### 2. LAN 機能が使用するリソースを予め決めておきます。

次に、本製品の LAN 機能に割り当てるリソース(IRQ・I/O Base Address・Mapped Memory Base)の値を、<u>インストール前に</u>決定します。このとき、コンピュータにイン ストールされている全てのデバイス(本製品のモデム機能を含む)と、リソースの競合 を起こさない値を選択しなければなりません。(Windows NT は Plug & Play をサポー トしていません。)

#### 3. LAN 機能をインストールします。

まず、LAN機能のインストールを行います。ここで、手順2で予め決めておいたリソースの値を設定ダイアログで指定します。(割り当てられたリソースは再起動後に有効化されます。)

#### 4. モデムをインストールします<sup>†</sup>。

+ モデムの場合、リソースの割り当ては既に行われているので、ここでの「インストール」と はモデムを Windows NT に登録することを意味します。

注)本製品のドライバーはLAN機能とモデム機能を<u>連動して一度にインストールする</u>ように設計されています。インストールの際には必ず本マニュアルの手順の通りに「LAN」「モデム」の順で一度にインストールして下さい。

### 2.2 インストールの流れ

インストールは以下の手順で行います。(詳細は次ページ以降で説明します。)

- (1) <u>コンピュータに電源が投入されていない状態で</u>本製品をコンピュータのPC カードスロットに挿入します。
- (2) 本製品をネットワーク・電話回線に接続します。
- (3) コンピュータに電源を投入し、Windows NTを起動します。起動後、本製品 はまだインストールされていないモデムカードとして認識されています。(この段階ではまだモデムのインストール作業は行いません。)
- (4) LAN 機能が使用するリソースの値を決定します。
- (5) LAN機能のインストールを行います。コントロールパネルの「ネットワーク」を起動し、ドライバーをインストールします。手順(4)での確認の結果、リソースの値の変更が必要な場合は値を設定し直します。
- (6) モデム機能のインストールを行います。
- (7) コントロールパネルの「シリアルポート」を起動し、シリアルポートに関す る設定を行います。
- (8) コンピュータを再起動し、設定を有効化します。

以上で本製品は使用できるようになりますので、引き続きお客様の環境に応じた詳細な 設定を行います。

インストールは一度行えばその内容は保存されます。次回からの使用時には一切の作業なしに、LAN とモデムの両機能をカード挿入後直ちに使用できます。

# 3 LM33-PCM-T**のインストール**

それでは、インストールを始めます。ここでは、「ネットワーク環境が全くインストール されていない」場合の<sup>†1</sup>インストール手順について説明します。また、<u>Windows NT が</u> 要求する問い合わせに対して、基本的にはデフォルト値で答えると仮定しています。

+ 1「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない (D)」を 選択した場合に相当します。

#### 3.1 準備

#### 用意するもの

- 1. LM33-PCM-T カード本体・メディアケーブル・メディアモジュールなど
- 2. コンピュータ (Windows NT 4.0 インストール済み)
- 3. Windows NTのCD-ROM
- 4. LM33-PCM ドライバーディスク<sup>†2</sup>(本製品付属)
  † 2 ドライバーソフトウェアは「¥windows.nt」に置かれています。
- 5. ご使用のコンピュータのマニュアル

#### インストールの前に

- <u>コンピュータの電源を切断し、</u>本製品をコンピュータのPCカードスロットに挿入 します<sup>†3</sup>。
- 2. 本製品をネットワーク・電話回線に接続します<sup>†3</sup>。

+3詳細は「LM33-PCM-Tユーザーズマニュアル」第2部をご覧ください。

# 3.2 COM ポート番号について

Windows NT では COM ポート (シリアルデバイスを接続するポート)を COM1 から COM256 までの 256 ポートを設定できますが、このうち本製品では COM2・COM3 を ご使用下さい。

注:ご使用のコンピュータで既にCOM2・COM3が使用されている場合はお手数ですが「シリ アルポート」(コントロールパネル)を使用してそれらのシリアルデバイスを他のCOM ポートで使用するように再設定して下さい。設定の手順については Windows NTのマニュ アルおよびオンラインヘルプをご覧ください。

# 3.3 **インストール手順**

# step1. モデムカードの認識

 Windows NTを起動します。「スタート」 「設定」 「コントロールパネ ル」と進み、「PC カード (PCMCIA)」をダブルクリックで起動します。



画面 1.1

 PCカード(PCMCIA)デバイス」が表示されます。この段階では本製品は まだインストール作業の行われていないモデムカードとして認識されていま す。「ATKK LM33-PCM-T」のデバイス名とソケット番号(画面では「ソケッ ト0」)を確認してください。(ソケット番号はLAN機能のインストール時に 必要となります。)

	0 71-1-1	(PCMCIA)	デバイス		?	Þ
P	ウォの状態	240-7]				12
-	10 PC 1	小およびりタットは次	のためいナす。			
4	ATCE LMS	0-PCH-T - 沙水0		)		
	784(148)	]				
1	主戸ロトロオ	構入または取り出し	の前にはたい。	の電源を切って	(153L)	

画面 1.2

 画面 1.2 で「ATKK LM33-PCM-T」を選択し、「プロパティ」 「リソース」 と進むと、本製品のモデム機能に割り当てられたリソースの値が表示されま す。初めに、「割り込み要求」でIRQ(割り込み)の値を確認してください。 (下の画面ではIRQ=3)

F1448 F56// 32-2	l	
ATKK LM89-PCN	<b>⊬</b> Τ	
7-3の設定	1002	
割り込み要求	3	÷
4		

画面 1.3 モデムの IRQ

スクロールバーで下方にスクロールすると「I/O範囲」が2行表示されます。
 1行目の値(画面 1.4)は本製品のモデム機能に割り当てられた値を、また
 2行目はLAN機能が使用する値の<u>初期設定値を</u>表示しています。
 ここでは1行目のモデム機能に関する値のみ確認して控えておいてください。

十個編 [ 1947] 97- 905	X	
ATKK LM83-P	DM-T	
7-2000000		
99-201種類	設定	-
VO 範囲	248-297	-
•		•
-		

画面 1.4 モデムの I/O 範囲 (I/O Base Address=2F8h)

「カード情報」タブで「デバイスマップ:」の欄が「使用不可」と表示される場合がありま すが、これは本製品の仕様によるもので、ご使用には支障ありません。

#### step2. ハードウェアリソースの確認

本製品のモデム機能とLAN機能は独立に別個のハードウェアリソースを使用します。こ のうち、モデム機能についてはカードを挿入した時点でWindows NTによって自動的に 適切な値が割り当てられますが、LAN機能についてはユーザーが手動で設定しなければ なりません。(Windows NT は Plug & Play およびマルチファンクションアダプタ を サポートしていません。)このとき、LAN 機能の使う値が他のデバイス(本製品のモデ ム機能を含む - step1.手順4参照)が使う値と重複しないように注意を払う必要があり ます。

LAN 機能のインストールを行う前に、ここでコンピュータのマニュアルおよび 「Windows NT 診断プログラム」を使用して現在のリソースの割り当て状況を確認しま す<sup>+1</sup>。(設定はLAN機能のインストール時に表示される設定ダイアログで行います<sup>+2</sup>。)

- + 1 コンピュータに予め組み込まれているデバイスの場合、コンピュータのマニュアルへの記載のみが行われ、「Windows NT診断プログラム」には値が表示されていないことがあります。割り当て状況の確認には、必ずマニュアルと「Windows NT診断プログラム」の両方をご使用下さい。
- +2この手続きは、ドライバーのインストール時に同時に行うこともできます。

なお、LAN機能のIRQ・I/O Base Addressの工場出荷時および設定可能な値の範囲は 以下の通りです。これらの値が空いていればそのまま使用できます。また、空いていな い(=他のデバイスにより既に使用されている場合)は他の空いている(=使用できる) 値を調べ、その値をインストール時に指定してください。

	I/O Base Address	IRQ <sup>†3</sup>
初期設定値	300h	10(A)
他の設定可能値	320h, 340h, 360h	3, 4, 5, 7, 9, 11(B), 15(F)

+3 IRQの値は設定ダイアログ(画面 1.21 参照)では 16 進数で表示されます。

#### (参考)

COM ポートとリソースは一般的に次のような組み合わせになります。(実際にはコン ピュータの機種により異なりますので必ずコンピュータのマニュアルでご確認下さい。)

	1/0 ベースアドレス	インタラプト(IRQ)
COM1	3F8h	4
COM2	2F8h	3
COM3	3E8h	4または5

ハードウェアリソースの値を確認する手順は以下の通りです。

1. 「スタート」 「プログラム」 「管理ツール (共通)」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。



画面 1.5 Windows NT 診断プログラムの起動

2. 「リソース」タブを選択します。最初に「IRQ(I)」の画面が表示されます。

	000000		HAL 57-38	3000 E
81 60 64 12 11	allot2p+ Social Social Filosov BO42p+t afapi		0 0 0 0 0 0	54 54 54 54 54 54 54 54
γ				

**画面**1.6 リソースの表示(IRQ)

† 本製品のモデム機能は「Serial」として表示されます(全てのシリアルデバイスで共通)。 数の「Serial」のうち、本製品を特定したい場合は「PCカード(PCMCIA)」(コントロール パネル)を使用してリソースの値を照合して判別して下さい(画面 1.3 ~ 1.4 を参照)。  次に、「I/O ポート(T)」ボタンをクリックします。I/O Base Address (「ア ドレス」の先頭値)を確認します。

	8	+44、97-3を含める(出)
7452	7/1/3	//2 種類 ▲
ATE - BTK	Mag-i	D ISA
ACE - 1716	Parport	D DA
050 - 058	Vgs5ave	0 PCI
2004 - 03DP	Relian .	0 1745
DOE - DICE	Falles	0 1925
0004 - 0104	Falves	0 戸部
1008 - 0108	FeVer	0 7725
100 - 105	(Troppy)	D 55A
077-0077	Fixeny	0 GA
376 - 37E	Serial	0 ISA
		2. D. D. J.
0 - 8975 16 - 8976 17 - 8976 16 - 1976	Fragery afapi Fragery Serial	0 54 0 54 0 54

画面 1.7 リソースの表示 (I/O Base Address)

次に、「メモリ(M)」ボタンをクリックして Mapped Memory Base (「アドレス」の先頭値)の画面を表示します。

		HAL 97-28	190500 F
7Fb.t 080000808 - 080	197743 1089 Abul Ster	8	BA BA

- 画面 1.8 メモリ (Mapped Memory Base)
- 5. 「OK」をクリックして終了します。

# step3. 「ネットワーク」の設定

 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と進み、「ネットワーク」ア イコンをダブルクリックしてください。



画面 1.9 「ネットワーク」

 下のダイアログが表示されます。「今すぐインストールしますか?」の問いに 対して、「はい(Y)」をクリックしてください。

ットワー	ウの構成
A	Windows NT キットワークがインストールされていません。
	今すぐインストールしますか?
	はいないしいいえいの

画面 1.10

「ネットワークセットアップウィザード」が起動します。「ネットワークに接続(W):」にチェックマークを付け、「次へ(N)>」をクリックしてください。



画面 1.11

4. 下の画面が表示されたら、「一覧から選択 (S)…」をクリックしてください。

1 mon	1秋市開始」をからするとものワークフリントの秋市を開始します。
and the	秋季間的少
015	8-97-9 78'7 %A)
Sec.	
Sec. 1922	Alter C. Manager



5. 本製品用のドライバーを選択します。<u>LM33-PCMドライバーディスクをフ</u> <u>ロッピーディスクドライブに挿入し</u>、「ディスク使用 (H)」ボタンをクリック してください。

קאצריצת ר-ריו-ו	
Advanced Micro Devices AM2100/AM1500T Adapter	
Alied Telesis LAISA Adapter	-
Alied Telesis LAPCM Adapter	_
Allied Telesis RE2000 Adapter	1000
Allied Telezyn AT1100 Ethernet Adapter	<b>T</b>

画面 1.13

 下のダイアログが表示されたら、ディレクトリとして「A:¥windows.nt」を 入力し、「OK」をクリックしてください。(ここでは、フロッピーディスクド ライブ名をA:と仮定します。)



7. 「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」の名前を確認し、「OK」をクリック してください。

OEM オプションの選択 🛛 🗙 🗙
ハートウェア製造元のディスクでサボートされている ソフトウェア を選択してください。
ʿAllied Telesis LM33-PCM 7찾기경
OK ት፥ንቲル ^ルブ( <u>H</u> )

画面 1.15 アダプターの選択

8. 「ネットワークアダプタ (A):」の「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」に チェックマークがついていることを確認して、「次へ (N):」をクリックして ください。

	【検索開始】 きり・クするとネックーク アジフ など検索を開始します。
Le La	8(###96(3)
BUL	3-17-9 197983
Ž	M BABed Telepis LM33-PCM 79'3'S
10	474- C (819)-

画面 1.16

9. 使用するネットワークプロトコルにチェックマークを付け、「次へ (N):」を クリックしてください。お客様のネットワークでどのようなプロトコルが使 用されているかは、システム管理者にご相談ください。

6	キャリア・クマングログンド・クリングの日本の一ていたり、し、マルルの単金 は、シストム学校会に対応していたり、し、
	4479-9 1303466 第一章 1865年 1973年 第二章 1985年 1973年 1974年 1973年 1974年 1973年 1975 1975 1975 1975 1975 1975 1975 1975
	-107-5-00702-

画面 1.17 プロトコルの選択

10. 使用するサービスを設定し、「次へ (N)>」をクリックしてください。お客様 のネットワークでどのようなサービスが使用されているかは、システム管理 者にご相談ください。

6	たの一知コス、333ムニムーでり31-6月れたサービロが見わています。 (一知)やう場例を知ったちとこの一知二級のできます。
	##19~9 サービス(E) 12 ■ 12 = 12 5 12 ■ 12 = 12 5 (29-7) + (2 12 ■ 1 - 22 + 14) 12 ■ サース2 + - (4) 12 ■ サース2 - (4)
	一個作為感動型。

画面 1.18 サービス

11. メッセージを確認して、「次へ (N)>」をクリックしてください。



画面1.19

 Windows NTのマスターCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、Windows NTファイルの格納ディレクトリである「E:¥i386」を入力し、「続行」をク リックしてください。(ここではCD-ROMドライブをE:と仮定します。)



画面 1.20

 続いて本製品の設定画面が表示されます。
 IRQ・IOBaseAddress・MappedMemoryBaseの3項目は他のデバイスと重 複しない適当な数値を選択します。詳細は本書「step2. ハードウェアリソー スの確認」をご覧ください。

PCIC Base Address (PCMCIA コントローラの使用する I/O ベースアドレ ス)はご使用のコンピュータのマニュアルで値を確認し、その値を入力して ください。デフォルトは 3E0h です。

PCMCIA Slot は本製品を挿入しているスロットの番号(1または2)を選択 してください<sup>†</sup>。デフォルトは1です。

CentreCOM LM33-PC	CM LAN Card 🗙
IRQ	A
IOBaseAddress :	300 🔻
MappedMemoryBase :	d0000 💌
PCIC Base Address	3EO
PCMCIA Slot	2 💌
O K Cancel	HELP

全ての項目を設定したら「OK」をクリックします。

画面 1.21 ハードウェアリソースの設定

† スロットの番号は「1」「2」で指定しますが、ご使用のコンピュータが異なる表記を用いている場合もあります。一般的には「0」「1」で表記されている場合は「0」「1」、「1」「2」、また「上」「下」で表記されている場合は「上」「2」、「下」「1」と置き換えればよいようですが、機種によっては逆の場合もありますので、必ずコンピュータのマニュアルでご確認下さい。

 コピーが始まります。手順9で「TCP/IPを使用する」と設定した場合は 「DHCPを使用するか?」を質問されます。ここでは、デフォルトである「いいえ(N)」をクリックすると仮定します。



**画面**1.22 TCP/IP **のセットアップ** 

15. 手順14で「DHCPを使用しない」設定としたので、「TCP/IPのプロパティ」 としてIPアドレスなどの値を促されます。下に入力例を示します。これらの 値は、お客様の環境における値を入力してください。

licrosoft TCP	/IP(	のプ	۵'n	Ŧ1	?
P 7127 DNS WINS	7112	<b>∦-</b> ∓0	ケ]		1994 - 1987 1997 - 1997
DHOP サーバーから、IP 7 につわられてたことができ おからつないまたにからり てください、	は、「	から	の中 <sub>3</sub> 0H(3 その)	17-27-27 19-27-19 19-27-19 19-27-19	パラカージに自動的 1930、場合は、 1937、場合は、 1937、今月二、入力し
797 %(E) [D] Allied Telesis LM3	0-PCM	1973			•
C DHCP #-n"-th	6117	1,220	170	0	
□ ● P 712世指定1	165	-			
P 751,242	150	087	025	110	
100xx h47th	295	255	295	0	
77161 71-17200	190	087	828	032	
					Ities.

画面 1.23 TCP/IP のプロパティ (IP アドレス)

 次に、DNS (Domain Name System) の設定をします。「DNS」のタブをク リックしてください。下に入力例を示します。

ALL IN LOAD MINE	712 1-10	7]	
1/9()/2-4/)394 (24 \$31-8(6) (unveliable	80	Parage Toulled Hales	1.00.B
- DWS 9-七2,25株中日 (1997)194	U\$\$		
156874616			T-464
-100-	NORD-	1010	1
And Information	0		上へ倒す
			下へ894
			4

画面 1.24 TCP/IP のプロパティ (DNS)

 続いて、「WINS (Windows Internet Name Service) アドレス」の設定を 行います。下の画面では、「Windows 名前解決に DNS を使う (N)」を仮定 しました。必要であれば、さらに「ルーティング」<sup>†</sup>の設定を行い、最後に 「OK」をクリックしてください。これらの設定の詳細についてはシステム管 理者にご確認ください。

icrosoft TCP/IPのブロバティ	?
7717 DHS WINS 7717 [1-707]	
Windows (28-\$rt \$-4 7-6'X WINE)	
[1] Allied Telexis LMID-PCM 79'7'9	
7542/ wais 9-16-00	
10.41 WING #-x'-GI	
R Wedner 副解説にONE EROSE R Unicosty 参照を打ちな 「Unicosts ER 23-71000	THISCO.
	Crosoft      TOP/TP(0)7      TA      T4        アドス      DMS      MMS      アドス      (エーランド)        Phile      MMS      アドス      (エーランド)        Phile      DD      Attest      1.0        Phile      DD      DD      1.0

画面 1.25 TCP/IP のプロパティ (WINS アドレス)

† この画面は Windows NT Workstation のものです。Windows NT Server をご使用の場合はさらに 「DHCP リレー」タブが存在します。「DHCP リレー」については Windows NT Server のマニュアル をご覧ください。 18. 「次へ (N)」をクリックしてください。



画面1.26

19. 「次へ (N)」をクリックしてください。

6	1.49-958875398598.00.7.
	したっ」またのするとものでの目的にます。 第2年やのわりーで発見するコス(同日 をかめ、てくだめ、5
	< #top 1000

画面 1.27

20. 「次へ (N)」をクリックしてください。下の画面では、「ワークグループ (W)」 に参加すると仮定します。お客様の環境がドメインとワークグループのどち らに参加しているかはシステム管理者にご確認下さい。



画面 1.28

21. 「完了」をクリックしてください。



画面 1.29 ネットワークセットアップウィザードの完了

 22. 下のダイアログが表示されたら、「いいえ (N)」をクリックしてダイアログを 閉じてください。



画面 1.30

23. 続いて、モデムのインストールに進みます。次ページのstep.4にお進みください。

# step4. モデムのインストール

つづいて、モデムのインストールを行います。「モデム」(コントロールパネル)をダブルクリックしてください。



画面 1.31 「モデム」(コントロールパネル)

 「新しいモデムのインストール」ウィザードが起動します<sup>↑</sup>。内容をよく読ん だ上で、「次へ」をクリックしてください。



画面 1.32 「新しいモデムのインストール」起動時

† ご使用のコンピュータで既に他のモデムがインストールされている場合は「モデム のプロパティ」が起動し、モデムのリストが表示されます。その場合は「追加…」を クリックすると、本製品を追加インストールする手続きが行われます。  Windows NT は COM ポートを昇順に検索し、本製品を「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」の名称で検出します。下の画面では COM2 で認識さ れていることが分かります。
 「次々(い)、 キャリックト エイギネー)

「次へ (N)>」をクリックしてください。

	com 上1現20%-553%4
SB	Allast Talasca UNIXI-PCM 79775
-	このからいの機構が正した。機能は、「実施」を知った。一覧 計られる機構を確認していため、5 実施に-
	(105m) (105m) (105m)

画面 1.33 本製品の検出

ご使用のコンピュータで初めてモデムを使用する場合は、電話を発信する場所についての情報の入力を要求されます<sup>†</sup>。各項目について、お客様の環境における値を入力または選択してください。詳細は Windows NT のオンラインヘルプまたは「LM33-PCM-T ユーザーズマニュアル」pp.3-12 ~ 3-13をご覧ください。

>	現在の存在地に開始的なしてください。	
-	Baye B*	•
	市市市町(c) (0) (2) (2) (2)	200
	a	
T	PREAD	
3.	e t-op C urab	

**画面** 1.34 所在地情報

+ ここで設定した情報は「テレフォニー」(コントロールパネル)の「所在地情報」タ ブで変更できます。 5. モデムのインストールが終了し、下の画面が表示されます。「完了」をクリッ クしてください。

モデルは正知にたけやりつされました。
設定を変更する場合は、エバローキ (「社会 (任行公) でこの サゲムを運動し、「7回ハライを知った。てくたさい。
(景も四) 売7 4015

画面 1.35 「新しいモデムのインストール」終了時

6. インストールが完了したら、下の画面が表示されます。「閉じる」をクリック してください。

モデムのプロハティ	? ×
全統	
🎯 = =012K3-9131. 2007	デムがをットアップされています。
Ψ'A	接绕先
istog). Niske	9 7D1177729
-71110182	
\$11107E #NLL UMPT	
しがイヤルのフロバラ引 を使って、ゲイ	物の方法を変更します。
\$194070	174D
[	#C5 (tr/ts)

画面 1.36 モデムのプロパティ

# step5. 「シリアルポート」の設定

続いて、シリアルポートの設定を行います。「シリアルポート」(コントロールパネル)をダブルクリックしてください。

עב 🗠	トロール パジ	おん			- 🗆	×
771/10	D 編集(	E) 表示	W AN	7"(H)		
\$	¢	111	0	100	10	-
PC カート	SCSI	77"95	インターネ	+-+-+	エンソール	
PCMC.	4	<b>N</b>		8		
<i><b>サ</b>−<i>n</i>'−</i>	サービス	サウンド	システム	12/17/1	$\overline{\tau} = T^*$	
ent-	æ	82	-	*	デリイス	
デバイス	デレフォニー	キットワーク	パラレル	フォント	アリンタ	
5.	4.9	100	*	-		
C I	200	2	6	-		
×1.4	Y/V777	τ <i>τ</i> 4	補助	HALL HI	<b>JERK</b>	
B	90					-
26 個の	オブジェクト					h

画面 1.37 「シリアルポート」(コントロールパネル)

 下の画面が表示されたら、本製品が接続されている COM ポート<sup>†</sup>(例では COM2)を選択し、「設定…」をクリックしてください。

シリアル ポート	×
π°−ト( <u>P</u> ):	キャンセル
COM1: COM2:	設定(S)
	追加( <u>A</u> )
	肖ᆙ涂( <u>D</u> )
▼	<u>^⊮プ(Ħ)</u>

画面 1.38 ポート番号の選択

+ ポート番号は「モデムのプロパティ」(画面 1.36 参照)で確認できます。「モデムの プロパティ」はコントロールパネルの「モデム」をダブルクリックすると表示でき ます。  設定画面が表示されます。「ボーレート」は 115200 に、また「フロー制御」 は通常は「ハードウェア」に設定してください。他の設定項目はデフォルト 値のままで構いません。(基本的にはモデムの設定と同じ値にすると考えてく ださい。)





- 4. 「OK」をクリックし、「シリアルポート」を終了します。
- 5. 以上でインストール作業は終了です。<u>コンピュータを再起動して、</u>設定内容 を有効化して下さい。

# step6. リソース値の確認

再起動したら、最後に「Windows NT 診断プログラム」(起動方法はstep.2を参照のこと)の「リソース」タブでリソース状況を確認して下さい。本製品のモデム機能は "Serial" として、また LAN 機能は "LM33PCM" の名称で表示されています。下の画面は一例です。

1. IRQ

(UM)	E) 7(H)</th <th></th>	
-950	9276 F'027W F'907 AU	チービス   37-ス   標地
		HAL 57-3を含めるビ
RQ.	20/42	- バス 種類
1	(8042pr1	0 ISA
3	Serial	D ESA
:	Serial Flores	0 154
0	LMSPCM	D ISA
2	i0042art	0 654
4	adapti	D ISA

画面1.40 IRQ

2. I/O Base Address



画面 1.41 I/O Base Address

3. Mapped Memory Base

		HAL 57-31	1000 E
2000-40000 - 20004FF. 0000-0000 - 2000-000 00000000 - 2000-000 00000000 - 2000-000	VgxRame LM30CM tgiuH0	0	RCI SA SA

画面 1.42 Mapped Memory Base

なお、デバイス毎にリソースを一覧表示することもできます。「デバイス」ボタンをク リックし、モデム機能については「Serial」を<sup>†</sup>、またLAN機能については「LM33PCM」 を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。下の画面はLAN機能(LM33PCM) についての表示画面です。

- 画面 1.43 リソース値一覧(例: LAN 機能)
- †「Serial」を選択した場合は、全てのシリアルデバイスの情報が一覧表示されます。

# 4 モデムの詳細設定

# 4.1 インストールの確認

次に、モデムのインストールが正常に行われているかを確認します。確認には「ハイパー ターミナル」(Windows NT添付の通信ソフト)を使います<sup>+</sup>。

 「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「ハイパーターミナル」と 進み、「ハイパーターミナル」を選択、起動します。



画面 2.1 ハイパーターミナルの起動

2. 「新しい接続」ダイアログが表示されます。「名前」の欄には適当な名称を入力し、「OK」をクリックしてください。



画面 2.2 「接続の設定」1

+ ここでは「ハイパーターミナル」を用いて説明を行いますが、他の通信ソフトでも確認できます。 その場合は通信ソフトのマニュアルをご覧の上で「ATコマンドを直接入力する」設定にし、本マ ニュアル(手順5)に記載のものと同じコマンドを実行してください。

27

3. 続いて、下の画面が表示されます。「接続方法(N)」で本製品が接続されているポート番号<sup>†</sup>(例ではCOM2)を選択し、「OK」をクリックします。

接続の設	定 <b>? ×</b>
LM33tes	t
電話番号の情報	を入力してください。
国番号( <u>C</u> ):	日本 (81)
市外局番(E):	03
電話番号( <u>P</u> ):	
接続方法( <u>N</u> ):	COM2 Allied Telesis, K.K. LM33-PCM 7分う物 COM1 COM2

**画面**2.3 「接続の設定」2

- † ポート番号は「モデムのプロパティ」で確認できます。(画面 1.36 参照)
- 4. ポートの設定を行うダイアログが表示されますので、例の通り(=「シリア ルポート」(コントロールパネル)の設定と同じ)に設定し、「OK」をクリッ クしてください。

COM2のプロパティ	?	X
ポートの設定		
ビット/秒(8): 115200 💌	 1	
ד <sup>י</sup> -¢ צ'יאל <u>ם</u> ): 8	]	
ハツティ(₽): たむし	]	
ストッフ <sup>*</sup> ビット( <u>S</u> ): 1	]	
フロー制御( <u>F</u> ): ハートウェア 又on / Xoff	]	
	Ē	
OKキャンセル	適用(	Ŋ

画面 2.4 ポートの設定

28
5. ターミナル画面が表示されます。この状態でキーボードからATコマンドを 直接入力できますので<sup>†</sup>、「AT」と「ATI3」の2つのコマンドを入力してくだ さい。下の画面の通りにリザルトコードが表示されれば、本製品のモデム機 能のインストールは正常に終了しています。

DF 93 DB F
АТ ОК АТІЗ V1.451-V34_LP АТКК 1.5 ОК

+ ATコマンド・リザルトコードについての詳細は「ユーザーズマニュアル」第7部「コ マンドリファレンス」をご覧ください。

### 4.2 通信に関する設定

次に、データ通信に関する詳細設定を行います。

この項で設定する項目は、市販の通信ソフトで通信する場合は通信ソフト側でも設定で きますので、その場合は通信ソフトのマニュアルをご覧ください。なお、Windows NT の「モデム」(コントロールパネル)と通信ソフトとで異なる設定を行った場合は<u>通信ソ</u> フトで行った設定内容が優先されます。

以下、ここでは Windows NT の「モデム」による設定の手順を説明します。

 コントロールパネルの「モデム」をダブルクリックで起動すると、「モデムの プロパティ」が表示されます。本製品は「Allied Telesis LM33-PCM アダ プタ」の名称で表示されます。「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」を選 択して、「プロパティ…」をクリックしてください。

B -me	
174 174	116.0005 40-51999 Off (1 (よう) 接続先
Alied Telesis I	LM33-РСН 7977 сон2
iffea).	#####
91974の設定	
外的元 聊以	峨珩
	and the second se
(\$*f\$AØ7`0A'Fd	を使って、デイヤルの方法を実更します。

画面 2.6 モデムのプロパティ

「全般」タブが表示されますので、「最高速度」を 115200 に設定して下さい。
 詳細はユーザーズマニュアル第4部2.5 項をご覧ください。

Ilied Te	alesis LM33-PCM 79' ? 🗙
全般 損得	1
Þ	Alfied Telesis LM33-PCM 757'8
#~h	00M2
	₩ ₩
最高速度	w
	115200
	□ この速度でのみ損得回
	0K 44)/8L

画面 2.7 「全般」

次に、「接続」タブでデータビット、パリティ等の設定をします。これらの項目はお客様の環境に応じて設定して下さい。(詳細はWindows NTのマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。)また、「呼び出しオプション」についてはユーザーズマニュアル第4部2.2項を、「接続オプション」については第4部2.7項もご覧ください。

( 19622 [		
FCAEL37562- F-315400	1	
137400	GL.	-
21+37 E'3H(2):	1	
相洗875-2		
図 トンを持って	けんちがイヤルする	5480 E
同が作用の	相絶らんフラトに	60 B
E ARREGO	杨节时曾位	○ 分
		Ballo A

**画面**2.8 「接続」

4. 画面 2.8 で「詳細…」をクリックし、フロー制御、ログの記録などを設定し ます。詳細は Windows NT のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧く ださい。

接続の詳細設定	?>
(2) エデー新聞を使うな)	
<ul> <li>協助に必要(b)</li> </ul>	
⑦ デー(約)圧縮(0)	
□ 移動体験(は5~3/5~7013)を使う(()	
12-14日を決定)	
In-P.9±2 (INTS/CTS/0H)	
C 171927 0004/30(171)(5)	
実調方式ない	
標準	*
通知現実の	
09/04289(Q)	
	06 4+3/28
	443/26

**画面** 2.9 詳細設定

なお、相手側モデムが移動体通信機器に接続し、無線によりデータを送信し てくる場合は「エラー制御を使う」の「移動体通信エラーコレクションプロ トコルを使う」を選択するとともに、「追加設定」に "S10=50" を入力しま <u>す。</u>詳細はユーザーズマニュアル pp. 4-22 ~ 4-23 をご覧ください。

# 5 登録内容の削除と再インストール

#### 5.1 概要

本製品のドライバーはLAN機能とモデム機能を連動してインストールするように設計されています。したがって、登録内容を一旦削除し、再びドライバーをインストールする 必要がある場合はご面倒でもLAN機能とモデムの両機能について削除、および再インス トールの手続きを行ってください。 どちらか一つの機能だけを削除、または再インス トールした場合は動作に不具合が生じる可能性もありますので、必ず本マニュアルの手 順にしたがってそれらの作業を行うようにしてください。

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。

step.1 LAN 機能 (LAN 機能用ドライバー)を削除します。

- + ドライバーを削除しても、そのアダプター(本製品のLAN機能のこと)にバインドしてい たプロトコルやサービスは削除されません(一部の設定値、例えばTCP/IPにおけるIPアド レスなどは削除されます)。したがって、アダプターを再インストールすれば、再びそれら のプロトコル、サービスなどを使用できます。
- step.2 モデムを削除します。
- step.3 コンピュータを再起動し、「LAN 機能」 「モデム」の順でドライバーを 再インストールします。

## 5.2 手順

## step.1 LAN 機能の削除

 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「ネットワーク」とたどっ て行き、「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブをクリックしてください。

49-9797	710-36 7777 710-	WOF ]		
A51 yant	Telena LINCO-PON	1973		
183640	10 88852	1 365	0.1.1	Bio.e
18.7.0149)	IL MARKE		<u>en 1.</u> 8	PT 62
	Land - Sole / F /			

画面 3.1

2. 「ネットワークアダプタ (N):」で「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」を 選択し、「削除 (R)」ボタンをクリックしてください。下の画面が表示された ら「はい」をクリックします。

繁情	×		
Δ	この操作はコンギーキントをシステムから客談します。 再度ハストーキするときは、その前にシステムを再起動してくださ い。		
	統行しますかや		
	121.00 Lit.i2.00		

画面 3.2

# step.2 モデム機能の削除

3. 「マイコンピュータ」 「コントロールパネル」 「モデム」とたどって行き、「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」を選択します。

モデムのプロパティ <b>?</b> ×
全般
このコンピュータコは、次のモデムがセットアップされています:
王拉
Allied Telesis LM33-PCM 7対ウタ COM2
<u>追加(A)</u> 削除(B) フロパティ(P)
「ダイヤルの設定
ダイヤル元 新しし い場所
[ダイヤルのプロバティ] を使って、ダイヤルの方法を変更します。
<u>፟</u> ኇ፟፞፞ጚ፞፞፟፟፟፟፟፟፟ኯፙፇዄኯኇ፟ጚ <u>ወ</u>

画面 3.3

4. 「削除 (R)」ボタンをクリックしてください。下のダイアログが表示されたら 「はい」をクリックしてください。

₹デム †	セットアップ
?	システムからモデム 'Allied Telesis LM33-PCM アダプタ' を削除しますか <b>?</b>
	$(\operatorname{div})$ $\operatorname{liv}(\mathbb{N})$

画面 3.4

5. 「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」が消えています。「閉じる」をクリッ クしてください。

かわれています
7(B/1748)
:を文更します。 

画面 3.5

## step.3 **再起動~再インストール**

- 1. コンピュータを再起動し、変更内容を有効化します。
- 再インストールする場合は「3.3 インストール手順」のstep.1から再び実行してください。ただし、再インストールの場合は以下の点が異なりますのでご注意下さい。

#### LAN 機能のインストール

「マイコンピュータ」 「コントロールパネル」と進み、「ネットワーク」 「アダプタ」 「追加…」と進んで下さい。step.3の手順3からの手順を再 び実行します。

#### モデムのインストール

誤ってLAN機能のインストールの前にモデムのインストールを行うとデバイ ス名として「標準モデム」が表示されることがあります。この場合は一旦イ ンストールをキャンセルし、本マニュアルにしたがって LAN 機能のインス トールからやり直して下さい。その後、デバイスは「LM33-PCM アダプタ」 として表示されるようになります。

## 6 BBS への接続

この項では、ハイパーターミナルを使って BBS<sup>†</sup>へ接続する手順を説明します。 ここでは、例として東京都内(市外局番が03の地域)から NIFTY-Serve(ニフティ株 式会社)の ROAD7(33,600bps 対応)に接続します。

† 本書ではオンラインサービス・商用パソコンネットワークなどを総称して「BBS」と呼び ます。

## 6.1 接続までの流れ

6.2 項に進む前に、以下のものを準備して下さい。

- 1 **ハイパーターミナル** ハイパーターミナルは Windows NT に標準添付されている通信ソフトウェ アです。詳細は Windows NT のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧 ください。
- 2 BBS **のユーザー** ID **(アカウント)** ユーザー ID の入手方法は各 BBS にお問い合わせください。 本書では NIFTY-Serve のユーザー ID を既に取得しているものとして説明し ています。
- 3 BBS **のアクセスポイントの電話番号** 本書では NIFTY-Serve の ROAD7(東京)の番号<sup>↑</sup>を使用します。
  - + アクセスポイントの電話番号は頻繁に新設または変更されます。お使いの時点での 最新の情報をお確かめください。

## 6.2 接続の手順

(1)「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「ハイパーターミナル」と 進み、ハイパーターミナルを起動します。

<ul> <li>100 年10</li> <li>第21年った7(140)</li> <li>第259</li> <li>11年20</li> <li>11年20</li> <li>11年20</li> </ul>	Cascel     Balancel Mail     Balancel Mail     Biotenet Mail     Biotenet Mail     Biotenet Mail     Action NT (2007)-9	
--	---	--

画面 4.1 ハイパーターミナルの起動

(2)「接続の設定」ダイアログが表示されます。
 「名前」に"NIFTY-Serve"(必ず半角文字をご使用ください。)と入力します。
 NIFTY-Serveの設定ファイル<sup>†</sup>に使用するアイコンを一覧から選択し、「OK」
 をクリックします。

接続の設定 ? ×
● 新しい接続
名前を入力し、アロンを選んでください。
名前( <u>W</u> ): NIFTY-Serve
ፖ/ጌጋው:
OK キャンセル
 画面 4.2 接続の設定

† Windows NT では設定ファイルを「セッション」と呼びます。

 (3)「電話番号」ダイアログが表示されますので、NIFTY-Serve に関する情報を 入力してください。「接続方法」は「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」
 を選択して下さい。全ての項目を正しく入力していることを確認したら、 「OK」をクリックします。

接続の設	定 <b>? ×</b>
	Serve
電話番号の情報	を入力してください。
国番号( <u>C</u> ):	日本 (81)
市外局番( <u>E</u> ):	03
電話番号( <u>P</u> ):	5711-8520
接続方法(N):	Allied Telesis LM33-PCM アタウタ 🔹
	OK キャンセル

画面 4.3 電話番号の設定(例:東京 ROAD7)

(4) 「接続」ダイアログが表示されます。内容を確認の上、間違いがなければ、「ダ イヤル」をクリックして NIFTY-Serve に電話をかけます。

接続			
	TY-Serve		
電話番号	0 5711-8520		変更( <u>M</u> )
所在地(L): 通話力-ト:	<b>新しい場所</b> なし	•	<u> </u>
		%1	ヤル キャンセル

**画面** 4.4 接続

**注** この画面は、「ダイヤルのプロパティ」(コントロールパネルの「テレフォニー」)で電話番 号を0発信に設定した場合の例です。

39

(5) 電話回線への接続が始まると、「接続」ダイアログは下の画面のように変わり ます。「状況」の欄は「接続中」 「ダイヤル中」と接続の状況を表示します。

接続	
25	NIFTY-Serve 0 5711-8520 Allied Telesis LM33-PCM アタフタ
_ 状況-	<u>፟</u> ጵ' ተ የሥተ
	今すぐがイヤル キャンセル

画面 4.5 回線に接続

話し中の場合は、「状況」の欄に「通話中」と表示されます。少し時間をおいて「今 すぐダイヤル」をクリックし、再び接続を試みてください。

- (6) 接続が完了すると、「接続」ダイアログが消え、ハイパーターミナルのターミ ナルウィンドウがアクティブになります<sup>†</sup>。下の画面は接続が完了し、まだ 何も入力がない状態です。
  - + ターミナルウィンドウが表示されるタイミングは「モデムのプロパティ」で設定し ます。



画面 4.6 ターミナルウィンドウ起動時

(7) ROAD7 でのログオン手順は従来のものと若干異なります。画面 4.6 の通り
 に入力して、Login: Password: Enter Connection-ID と進んで下さい。
 なお、Password:に対しては文字は入力せず、Enter(改行)キーのみを入力
 します。



- (8) 続いてユーザーIDとパスワードを入力します。入力したパスワードが正しい ものとして認識されると、NIFTY-ServeのTOP画面が表示されます。これ でNIFTY-Serveへの接続は完了です。
- (9) NIFTY-Serveからログオフするには、「>」のあとにoffと入力します。サービス終了の手続きが行われ、メッセージが表示されます。

7(l/E) 編集(E) 表示(M)	通信② 転送① へ471日	
12 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15		
RBLIG OUT 97/04/25 10:19:20	6	
1977-14798 199 し ウービス第月 秋葉 2 香子を シムノスターンタン 2 香子を シムノスターンタン 2 香子を シムノスターンタン 2 香子を シムノスターンタン 1 クロタンクローナー 1 クロタンクラーナー 1 インタースットノビスマート 単純 2 野丁	<ol> <li>電子メード</li> <li>(ロシミュシーター</li> <li>(ロシミュシーター</li> <li>(ロシミュシーター</li> <li>(ロシミュシーター</li> <li>(ロシーター</li> <li></li></ol>	
LBS 18 97/04/25 LBS 8/1 97/04/25	12 27 47 13 21 12	
これの時間は、20分15月でした。 これの第二次のかとうこのいました	-	
Sector reserves and reserves an		

画面 4.7 ログオフ

(10) 引き続き、NIFTY-Serveは電話回線の切断処理を行います<sup>†1</sup>。電話回線が切 断されるとウィンドウ左下に「切断」と表示されますのでご確認ください。

ご利用誠にあり 	いか`
切断	動

画面 4.8 電話回線の切断

- + 1 ROAD7の回線切断の手続きは従来のROAD2/3/4/5と異なり、NIFTY-Serve 側で自動 的に行われます。
- (11) ハイパーターミナルを終了します。「ファイル」メニューの「ハイパーターミ ナルの終了」を選択します。次のダイアログが表示されたら、「はい」をク リックして NIFTY-Serve の設定ファイル(セッション)を保存して<sup>†2</sup>終了 します。

<b>ハイパー</b>	ターミナル		×
?	セッション N	IFTY-Serve を	を保存しますか <b>?</b>
	はい①	いいえ(N)	キャンセル

画面 4.9 ハイパーターミナルの終了

+ 2 セッションの保存後に各設定値を変更する場合は手順(4)の「接続」ダイアログで「変更」をクリックして下さい。

(12) セッションが保存されると、「ハイパーターミナル」の下に「NIFTY-Serve」 セッションが表示されます。(画面 4.10 参照)。次回から NIFTY-Serve に接 続するときには、この「NIFTY-Serve」を選択するだけで自動的に NIFTY-Serve に接続できるようになります。(手順6から始まります。)



画面 4.10 セッション (設定ファイル)の選択

# 7 ダイヤルアップ IP 接続

第7項では、「ダイヤルアップネットワーク」を使ってインターネットプロバイダ(以下、「プロバイダ」と表記)にダイヤルアップIP接続をする手順を紹介します。 ここでは、プロバイダの例として bekkoame(株式会社ベッコアメ・インターネット) に接続します。

なお、実際には接続する手順はプロバイダによって異なりますので、bekkoameと異なるプロバイダに接続する際には各プロバイダから提供されるマニュアルを必ずご覧ください。

#### 7.1 準備

7.2項に進む前に、以下のものをご用意ください。

- 1 ダイヤルアップネットワーク ダイヤルアップネットワークがまだインストールされていない場合は、「マイ コンピュータ」ウィンドウの「ダイヤルアップネットワーク」アイコンをダ ブルクリックして下さい。ダイヤルアップネットワークのインストール手続 きが始まりますので、画面の指示にしたがってインストールして下さい。
- 2 TCP/IP TCP/IPがまだインストールされていない場合は、「コントロールパネル」 「ネットワーク」と進み、TCP/IPをインストールして下さい。
- 3 インターネットツール

Windows NT では標準として Microsoft Internet Explorer ・FTP・Telnet の3種類のインターネットツールが装備されています。その他にも様々なインターネットツールがありますので必要に応じてご用意ください。

#### 4 プロバイダのユーザー ID (アカウント)

ユーザーIDの入手方法は各プロバイダにお問い合わせください。 本書ではbekkoameのユーザーIDを既に取得しているものとして説明して います。

5 **プロバイダのアクセスポイントの電話番号** 電話番号は各プロバイダにお問い合わせください。また、アクセスポイント は頻繁に新設または更新されますので必ず最新の情報をお確かめください。

44

## 7.2 接続の手順

ダイアルアップIP接続を行う手順は以下の通りです。なお、ここではダイヤルアップ ネットワークをインストール後に初めて起動する場合について説明します。

 「マイコンピュータ」「ダイヤルアップネットワーク」と進み、「ダイヤル アップネットワーク」アイコンをダブルクリックします。



画面 5.1 「ダイヤルアップネットワーク」

2. 下のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックしてください。



画面 5.2

 「新しい電話帳のエントリウィザード」が起動します<sup>†</sup>。プロバイダを識別す る適当な名称を入力してください。ここでは、「bekkoame」とします。また、 「電話帳エントリについてはよく知っているのでプロパティを直接編集した い」チェックボックスをチェックしてください。



**画面** 5.3 ウィザードの起動

- † Windows NTではリモート接続の設定ファイルを「エントリ」と呼びます。ダイヤル アップ IP 接続をするプロバイダの設定は Windows NT の電話帳に「エントリ」とし て登録されます。
- エントリの編集画面が表示されます。「基本」タブでは電話番号、エントリ名 などの基本的な設定を行います。「ダイヤル方法」は「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」を選択します。その他詳細についてはオンラインヘルプを ご覧ください。

基本	9-11- 20071 144.091	×25
DH/A/D	bekkoane	
20100		
電話書号包計	E Araca Mila mahala dellara	その他と
	17074-** 9974607 UN TPELEOQU	
<b>F14世纪</b>	Allied Telesis LM33-PCM 79779 •	構的(2)-

画面 5.4 電話帳のエントリの編集(基本)

 続いて、「サーバー」タブを選択します。ダイヤルアップサーバーの種類は 「PPP; Windows NT. Windows 95 Plus, インターネット」を選択し、ネッ トワークプロトコルは「TCP/IP」のみをチェックします(bekkoameの場 合)。その他の項目についてはオンラインヘルプをご覧ください。

ト   1944  -そか この/10 の)教定(g	974   • •	X25
1-2水 0月/1日 の撤定(2	•	Î
トキオ OP/IP の観竜(G	•	
0月/10 の数定位	2	í.
0月/10 の教室(2	2	
And a state of the second second second		
-	- 1	4-2-04
	0	CK

画面 5.5 電話帳のエントリの編集(サーバー)

6. 画面 5.5 で「TCP/IP の設定」ボタンをクリックし、プロトコルに関する詳 細設定を行います。プロバイダから提供される値を入力し、「OK」をクリッ クします。

PPP TCP/IP の	設定	Ē		?	Х
⊙ サーバーが割り当てた IP	アドレス	S			
□ □ P アト・レスを指定する(P)					
IP 7ドレス( <u>A</u> ):	0	0	0	0	
○ サーバーが割り当てたネー	ムサーハ	· 7۴	レス( <u>E</u> )		
┌─◎ ネーム サーバー アトシスを指	定する	( <u>M</u> )			
די סאליד DNS( <u>D</u> ):	202	011	252	002	1
セカンタリ DNS(N):	202	011	252	200	1
プライマリ WINS( <u>W</u> ):	0	0	0	0	1
セカンタリ WINS ①:	0	0	0	0	1
■ IP ハッジ 一圧縮を使うCJ ■ リモート ネットワーク上のテウォル	Ւ <i>ケ</i> ∽⊢ν	フェイをſ	使う(G)		
	ОК		4	ャンセル	

画面 5.6 PPP TCP/IP の設定

 続いて「セキュリティ」タブを表示します。「クリアテキストを含む任意の認 証を受け付ける」をチェックし、「OK」をクリックして下さい。(bekkoame の場合)

登本	4-11-	T	29971		t4.577		×25
國政地國會會	の原則―	_				-	
④ 物疗 并存	いを含む狂き	WIN .	TE WHITE	75公?			
O 暗号化3	れた翌日の	teee	Gidtin				
C Nicrosof	• 暗号化即新	60,749	のナロナラ	W)			
D 7	-9老暗号化? (在の2~デー)	する(1)) 長とがつ	10-11600	100			
1729-1-18	保肌成物	9-1					

画面 5.7 電話帳のエントリの編集(セキュリティ)

8. 「ダイヤル」をクリックして下さい。

	デイオルする電話幅2015(8)(8)	
BIL	bekksare	*
200	新潮設	<ul><li>その他知り・</li></ul>
~ 2	電話番号のブレビォー9/)	
	9 5610-2332	
1	育(自元(2))	
	INLA 1987所	
and		所在地心。
A COURSE		

画面 5.8

9. bekkoameのユーザー名とパスワードを入力してください。「ドメイン名」は 空欄のままで結構です。入力が終わったら「OK」をクリックしてください。

bekkoam	e への接続 🛛 ? 🗙
リモート ネットワーク 力してください。	ドメイソにアクセスできるユーザー名とパスワードを入 ,
ユーザー名(山):	nami
ハ*スワート*( <u>P</u> ):	жжжж
F342( <u>D</u> ):	1
	□ パスワードを保存する( <u>S</u> )
	OK キャンセル

画面 5.9 ユーザー名とパスワードの入力

10. bekkoameへの接続が始まります。

bekkoame に接続してい
ユーザー名とパスワートを検証中
キャンセル

画面 5.10

11. 接続が完了すると、以下の画面が表示されます。内容をよく読んだ上で、 「OK」をクリックしてください。

接続の	の完了	×
	パー・サーバーに正常に回転、主した。キャワークに直接通知している場合と同じより、「解析の Weadown MF 710716 やユーラックライ提供にといいできます。 解読を切除したし、状態を確認するショニキ なか バートの (タイヤムアップ キャワーク にぶ) を石中カンで汚った ていこれ い (タイヤムアップ キャワーク にぶ) あます ション・	
	図 整合規制に開設5000	
	ox	

画面 5.11 接続の完了

- 12. WWW ブラウザなどのインターネットツールを起動します。
- 13. 接続を終了するにはタスクバー(スクリーン右下)のダイヤルアップモニタ アイコン(画面 5.12)をマウスの右ボタンでクリックし、「切断」 「bekkoame」を選択して下さい(画面 5.13)。



画面 5.12 ダイヤルアップモニタアイコン

	<b>ダイヤルアップ モニタを 開く(<u>O</u>)</b> ダイヤル( <u>D</u> )	•
bekkoame	切断(山)	►
בי זענ י		

画面 5.13 bekkoame の切断

14. 下の画面が表示されたら、「はい」をクリックしてください。以上で切断の手 続きは終了です。

ダイヤル	/アップ ネットワーク モニタ 🛛 🛛 🗙
⚠	<b>bekkoame</b> から切断しますか <b>?</b>
	(はい) いいえ(N)

**画面** 5.14

# 付録 Windows NT での注意事項

#### 1. DIAGAT.EXE (ハードウェア診断プログラム) について

本製品に付属のハードウェア診断プログラムDIAGAT.EXE**は、**MS-DOS**モードでのみ動 作します**(Windows NTの「コマンドプロンプト」ウィンドウでは使用できません。)。 ご使用のコンピュータがMS-DOS環境に切り替えられる場合のみ、 本プログラムを実 行できます。

## 2. 本製品を使用しないとき

本製品を使用しない(=PCカードスロットに本製品が挿入されていない、またはネッ トワークケーブルが接続されていないなど)ときはドライバーをアンロード(unload) しておくことをお勧めします。ドライバーがロードされたままだと、Windows NT は ネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアが起動してしまいます。この現 象はドライバーをアンロードすることによって回避できます。

#### ドライバーをアンロードする手順

- 1. ネットワーク(コントロールパネル)を起動します。
- 2. 「バインド」タブで本製品のアイコンを表示し、「無効」をクリックします。本製品 のアイコンが無効アイコンに変わります。
- 本製品にバインドしているすべてのプロトコルについて同じ手続きを行い、「OK」 をクリックし、ダイアログを閉じます。

ットワーク 891 [ サービス] 21	1126 73573 1	(5F)	?
キーパー NOW 10 // ・パロトは、たんび のべいり 10 // 10 // を定てすることが		したりかール教化す こので、一般化す 一般中国の「上で見	しいもキャンワーク カード 波像って、ネックー・ 開き検索する副具
小化作の表示型	T	12	
	インターフェイス IEUI 7日ト36 III Afted Taleater Al Stート アクセス W rek NewBOS IEUI 7日ト36 III Afted Taleater Al Stート アクセス W rek IPX/SPX 王靖 rek NewBOS	LN83-ROM 7977'8 AN 524'- LN83-ROM 7977'8 AN 524'- 192728'-1	•
有物助	(Uritime)	上への	Free

本製品をご使用中に障害が発生した場合は「LM33-PCM-T ユーザーズマニュアル」の「付録S 保証・ユーザーサポート」をご覧の上、弊社サポートセンターまでご連絡下さい。

この際、「調査依頼書 (「ユーザーズマニュアル」巻末)において、「3.ご使用のコンピュータの機種と搭載 OS」および「6.(電話回線接続時)」の「Windows 95」の記述はそれぞれ「Windows NT 4.0」に変更してお使いください。

## 4. **規格仕様**

4.1 対応規格

(i) PC カード	PCMCIA I	Release2.1	JEIDA Ver.4.2 以降
(ii) ネットワークアダプター	IEEE802.3	3	CSMA/CD
	Ethernet V	Ver.2.0	10BASE-T(RJ-45)
(iii) モデム			
通信プロトコル:	ITU-T	V.21, V.22	2, V.22bis, V.32, V.32bis,
		V.34 <sup>†1</sup>	
	BELL	103, 212/	Ą
	Rockwell	V.FC	
エラー訂正プロトコル:	V.42, MN	P2-4	
データ圧縮プロトコル:	V.42bis, N	/NP5	
その他:	MNP10		

†1オプションの 31,200bps・33,600bps を含む

(iv) ファクスモデム

通信プロトコル:	ITU-T	V.21ch2, V.27ter, V.29, V.17
		Т.30
(v) 安全規格	VCCI-1	

( ) =	
(vi) アナログ電話端末	RJ-11, アナログ一般公衆回線

## 4.2 **ネットワーク機能**

(i)転送速度	10M bps
(ii)RAM バッファ	32K byte SRAM
(iii)I/O アドレス	300H, 320H, 340H, 360H
(iv)インタラプト	IRQ 3, 4, 5, 7, 9,10,11,15

# 4.3 モデム機能

(i)	通信速度	300, 1200, 2400, 4800, 7200, 9600,
		12000, 14400, 16800, 19200, 21600,
		24000, 26400, 28800, 31200, 33600 [bps]
(ii)	ファクス通信速度	300, 2400, 4800, 7200, 9600, 12000,
		14400 [bps]
(iii)	COM ポート	

ポート	
(i) 使用ポート	COM2, COM3
(ii) 転送速度	300, 600, 1200, 2400, 4800, 7200, 9600, 12000,
	14400, 19200, 38400, 57600, 115200 [bps]
(iii) I/O アドレス	2F8, 3E8

## 4.4 コマンド体系

AT コマンド, CLASS1, CLASS2 コマンド

CentreCOM<sup>™</sup> LM33-PCM-T

**ユーザーズマニュアル**2

# Windows NT® 4.0 インストールガイド



Copyright 1997 アライドテレシス(株)

CentreCOM LM33-PCM-T をご購入いただき、誠にありがとうございます。 この文書は、本製品を<u>Windows NT Ver.4.0 搭載の AT 互換機 (PC-AT)</u>でご 使用いただくための手引きです。「LM33-PCM-T ユーザーズマニュアル」と 併せてお読みください。

#### 本文書は以下の仮定のもとに記述されています

- [1] 本文中では各ドライブ名を、フロッピーディスクドライブを A:、インストール先 ドライブを C:、CD-ROM ドライブを E:と仮定しています。
- [2] Windows NT Ver.4.0 はご使用のコンピュータに既にインストールされているものとします。

#### 本製品は PC-98 およびその互換機ではご使用になれません

本製品の Windows NT 用 NDIS ドライバーは AT 互換機(PC-AT、DOS/V 搭載機)専用です。NEC PC-98 シリーズおよびその互換機ではご使用できませんのでご注意下さい。

## 本文書に関するご注意

- (1) 本文書は、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を コピーすることを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本文書の一部または全体を修正、変更すること がありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更、改良することが ありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負 いかねますのでご了承ください。
- (C) 1997 アライドテレシス株式会社

### 商標について

CentreCOM はアライドテレシス株式会社の商標です。 Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOS は米国 Microsoft Corporation の登録 商標です。 MNP は Microcom, Inc. の登録商標です。 NIFTY-Serve はニフティ株式会社の商標です。 BEKKOAME/INTERNET は株式会社ベッコアメ・インターネットの商標です。 その他、この文書に掲載されているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの 商標または登録商標です。

## マニュアルバージョン

1997年08月 Ver.1.0 pl 0 1st release

# 本文書の使い方

本製品添付の「LM33-PCM-T ユーザーズマニュアル」は Windows 95の環境でのご使 用を前提に記述、構成されています。本文書「Windows NT 4.0 インストールガイド」 は本製品の Windows NT 4.0 対応に伴い、「ユーザーズマニュアル」の補足文書として 作成されたものです。Windows NT 4.0 で本製品を使用する際には下図を参考にして、 両冊子を併せてお読みください。



ユーザーズマニュアル第5部および第6部はWindows95でのご使用に特化した内容になっています。

本マニュアルでは、各用語を以下の意味で使用しています。

コンピュータ	本製品を接続して通信を行う機器全般を指します。
	パソコン・DTE・端末などすべてを含みます。
通信ソフト	市販のパソコン用通信ソフトウェアのことです。
AT <b>互換機</b>	DOS/V 搭載機種、PC-AT
移動体通信	携帯電話(アナログ式・デジタル式)と PHS をまとめて移動体通信
	と表記しています。
Windows NT	Microsoft Windows NT Operating System Ver.4.0 Workstation
	for PC-AT のこと
LAN <b>機能</b>	本製品のネットワークアダプター機能のことを特に「LAN 機能」と
	呼んでモデム機能と区別しています。

	本文書に関するご注意
1	<b>準備と確認</b> 1
2	<b>インストールの概要</b>
3	LM33-PCM-T のインストール       4         3.1 準備       4         3.2 COM ポート番号について       4         3.3 インストール手順       5         step1. モデムカードの認識       5         step2. ハードウェアリソースの確認       7         step3. 「ネットワーク」の設定       10         step5. 「シリアルポート」の設定       23         step6. リソース値の確認       25
4	<b>モデムの詳細設定</b> 27 4.1 インストールの確認 27 4.2 通信に関する設定 30
5	登録内容の削除と再インストール       33         5.1 概要       33         5.2 手順       34         step.1 LAN機能の削除       34         step.2 モデム機能の削除       35         step.3 再起動~再インストール       36

vi

6	BBS ^	の接続	.37
	6.1	接続までの流れ	37
	6.2	接続の手順	38
7	ダイヤ	ルアップ IP 接続	.44
	7.1	準備	44
	7.2	接続の手順	45
付	<b>禄</b> Wir	ndows NT <b>での注意事項</b>	.51

viii

# 1 準備と確認

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。 各操作・設定の手順については Windows NT のマニュアル・ヘルプをご覧ください。



Windows NT のハードウェア互換性リスト (Windows NT パッケージに同梱されています)に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



<u>ここに挙げた例は一例であり、お客様の使用するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。予めご了承ください</u>。



本製品のインストールを Windows NT のインストールと同時に行うことは 避けて下さい。必ず、<u>Windows NT のインストールを完了したあとで、本製</u> <u>品のインストールを行って下さい。</u>Windows NT は Plug&Play をサポート していないため、Windows NT と本製品のインストールを同時に行うと、 Windows NTのインストール中に本製品が使用するハードウェアリソースが 他のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがありま す。



Windows NTでは活線挿抜(コンピュータの電源を入れたままでカードの抜き挿しを行うこと)はできません。本製品の挿抜を行う際には必ずコン ピュータの電源がOFFになっていることをご確認下さい。誤って活線挿抜を 行った場合に起こった障害についてはユーザーサポートの対象外とさせてい ただきますので予めご了承ください。

# 2 インストールの概要

## 2.1 **ハードウェアリソースについて**

本製品は1枚のカードで2つの機能を持ち、それぞれが異なるハードウェアリソースを 使用して動作します。そのため、本製品をインストールする際にはリソースの競合につ いて特に注意を払う必要があります。特に、ご使用のコンピュータに既に多くのシリア ルデバイスや拡張アダプターがインストールされている場合はご注意下さい。

本製品をインストールする一連の作業における、ハードウェアリソースの振る舞いと注 意点は以下のようになります。

#### 1. モデム機能が使用するリソースを確認します。

本製品をPCカードスロットに挿入してWindows NTを起動すると、Windows NTは本製品のモデム機能のみを1つの独立したシリアルデバイスとみなし、COM ポート・IRQ・I/O Base Address を割り当てます。この、カードを挿入しただけの段階で、それらの割り当てられた値を「Windows NT 診断プログラム」で確認してください。

#### 2. LAN 機能が使用するリソースを予め決めておきます。

次に、本製品の LAN 機能に割り当てるリソース(IRQ・I/O Base Address・Mapped Memory Base)の値を、<u>インストール前に</u>決定します。このとき、コンピュータにイン ストールされている全てのデバイス(本製品のモデム機能を含む)と、リソースの競合 を起こさない値を選択しなければなりません。(Windows NT は Plug & Play をサポー トしていません。)

#### 3. LAN 機能をインストールします。

まず、LAN機能のインストールを行います。ここで、手順2で予め決めておいたリソースの値を設定ダイアログで指定します。(割り当てられたリソースは再起動後に有効化されます。)

#### 4. モデムをインストールします<sup>†</sup>。

+ モデムの場合、リソースの割り当ては既に行われているので、ここでの「インストール」と はモデムを Windows NT に登録することを意味します。

注)本製品のドライバーはLAN機能とモデム機能を<u>連動して一度にインストールする</u>ように設計されています。インストールの際には必ず本マニュアルの手順の通りに「LAN」「モデム」の順で一度にインストールして下さい。
### 2.2 インストールの流れ

インストールは以下の手順で行います。(詳細は次ページ以降で説明します。)

- (1) <u>コンピュータに電源が投入されていない状態で</u>本製品をコンピュータのPC カードスロットに挿入します。
- (2) 本製品をネットワーク・電話回線に接続します。
- (3) コンピュータに電源を投入し、Windows NTを起動します。起動後、本製品 はまだインストールされていないモデムカードとして認識されています。(この段階ではまだモデムのインストール作業は行いません。)
- (4) LAN 機能が使用するリソースの値を決定します。
- (5) LAN機能のインストールを行います。コントロールパネルの「ネットワーク」を起動し、ドライバーをインストールします。手順(4)での確認の結果、リソースの値の変更が必要な場合は値を設定し直します。
- (6) モデム機能のインストールを行います。
- (7) コントロールパネルの「シリアルポート」を起動し、シリアルポートに関す る設定を行います。
- (8) コンピュータを再起動し、設定を有効化します。

以上で本製品は使用できるようになりますので、引き続きお客様の環境に応じた詳細な 設定を行います。

インストールは一度行えばその内容は保存されます。次回からの使用時には一切の作業なしに、LAN とモデムの両機能をカード挿入後直ちに使用できます。

# 3 LM33-PCM-T**のインストール**

それでは、インストールを始めます。ここでは、「ネットワーク環境が全くインストール されていない」場合の<sup>†1</sup>インストール手順について説明します。また、<u>Windows NT が</u> 要求する問い合わせに対して、基本的にはデフォルト値で答えると仮定しています。

+ 1「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない (D)」を 選択した場合に相当します。

#### 3.1 準備

#### 用意するもの

- 1. LM33-PCM-T カード本体・メディアケーブル・メディアモジュールなど
- 2. コンピュータ (Windows NT 4.0 インストール済み)
- 3. Windows NTのCD-ROM
- 4. LM33-PCM ドライバーディスク<sup>†2</sup>(本製品付属)
   † 2 ドライバーソフトウェアは「¥windows.nt」に置かれています。
- 5. ご使用のコンピュータのマニュアル

#### インストールの前に

- <u>コンピュータの電源を切断し、</u>本製品をコンピュータのPCカードスロットに挿入 します<sup>†3</sup>。
- 2. 本製品をネットワーク・電話回線に接続します<sup>†3</sup>。

+3詳細は「LM33-PCM-Tユーザーズマニュアル」第2部をご覧ください。

## 3.2 COM ポート番号について

Windows NT では COM ポート (シリアルデバイスを接続するポート)を COM1 から COM256 までの 256 ポートを設定できますが、このうち本製品では COM2・COM3 を ご使用下さい。

注:ご使用のコンピュータで既にCOM2・COM3が使用されている場合はお手数ですが「シリ アルポート」(コントロールパネル)を使用してそれらのシリアルデバイスを他のCOM ポートで使用するように再設定して下さい。設定の手順については Windows NTのマニュ アルおよびオンラインヘルプをご覧ください。

## 3.3 **インストール手順**

# step1. モデムカードの認識

 Windows NTを起動します。「スタート」 「設定」 「コントロールパネ ル」と進み、「PC カード (PCMCIA)」をダブルクリックで起動します。



画面 1.1

 PCカード(PCMCIA)デバイス」が表示されます。この段階では本製品は まだインストール作業の行われていないモデムカードとして認識されていま す。「ATKK LM33-PCM-T」のデバイス名とソケット番号(画面では「ソケッ ト0」)を確認してください。(ソケット番号はLAN機能のインストール時に 必要となります。)

	0 71-1-1	(PCMCIA)	デバイス		?	Þ
P	ウォの状態	240-7]				12
-	10 PC 1	小市よびの水田また	のためリナす。			
4		D-PCH-T - 沙水0		)		
	784(148)	]				
1	主戸ロトロオ	構入または取り出し	の前にはたい。	の電源を切って	(153L) V	

画面 1.2

 画面 1.2 で「ATKK LM33-PCM-T」を選択し、「プロパティ」 「リソース」 と進むと、本製品のモデム機能に割り当てられたリソースの値が表示されま す。初めに、「割り込み要求」でIRQ(割り込み)の値を確認してください。 (下の画面ではIRQ=3)

F1448 F56// 32-2	l	
ATKK LM89-PCN	<b>⊬</b> Τ	
7-3の設定	1002	
割り込み要求	3	÷
4		

画面 1.3 モデムの IRQ

スクロールバーで下方にスクロールすると「I/O範囲」が2行表示されます。
 1行目の値(画面 1.4)は本製品のモデム機能に割り当てられた値を、また
 2行目はLAN機能が使用する値の<u>初期設定値を</u>表示しています。
 ここでは1行目のモデム機能に関する値のみ確認して控えておいてください。

十個編 [ 1947] 97- 905	X	
ATKK LM83-P	DM-T	
7-2000000		
99-201種類	設定	-
VO 範囲	248-297	-
•		•
-		

画面 1.4 モデムの I/O 範囲 (I/O Base Address=2F8h)

「カード情報」タブで「デバイスマップ:」の欄が「使用不可」と表示される場合がありま すが、これは本製品の仕様によるもので、ご使用には支障ありません。

#### step2. ハードウェアリソースの確認

本製品のモデム機能とLAN機能は独立に別個のハードウェアリソースを使用します。こ のうち、モデム機能についてはカードを挿入した時点でWindows NTによって自動的に 適切な値が割り当てられますが、LAN機能についてはユーザーが手動で設定しなければ なりません。(Windows NT は Plug & Play およびマルチファンクションアダプタ を サポートしていません。)このとき、LAN 機能の使う値が他のデバイス(本製品のモデ ム機能を含む - step1.手順4参照)が使う値と重複しないように注意を払う必要があり ます。

LAN 機能のインストールを行う前に、ここでコンピュータのマニュアルおよび 「Windows NT 診断プログラム」を使用して現在のリソースの割り当て状況を確認しま す<sup>+1</sup>。(設定はLAN機能のインストール時に表示される設定ダイアログで行います<sup>+2</sup>。)

- + 1 コンピュータに予め組み込まれているデバイスの場合、コンピュータのマニュアルへの記載のみが行われ、「Windows NT診断プログラム」には値が表示されていないことがあります。割り当て状況の確認には、必ずマニュアルと「Windows NT診断プログラム」の両方をご使用下さい。
- +2この手続きは、ドライバーのインストール時に同時に行うこともできます。

なお、LAN機能のIRQ・I/O Base Addressの工場出荷時および設定可能な値の範囲は 以下の通りです。これらの値が空いていればそのまま使用できます。また、空いていな い(=他のデバイスにより既に使用されている場合)は他の空いている(=使用できる) 値を調べ、その値をインストール時に指定してください。

	I/O Base Address	IRQ <sup>†3</sup>
初期設定値	300h	10(A)
他の設定可能値	320h, 340h, 360h	3, 4, 5, 7, 9, 11(B), 15(F)

+3 IRQの値は設定ダイアログ(画面 1.21 参照)では 16 進数で表示されます。

#### (参考)

COM ポートとリソースは一般的に次のような組み合わせになります。(実際にはコン ピュータの機種により異なりますので必ずコンピュータのマニュアルでご確認下さい。)

	1/0 ベースアドレス	インタラプト(IRQ)
COM1	3F8h	4
COM2	2F8h	3
COM3	3E8h	4または5

ハードウェアリソースの値を確認する手順は以下の通りです。

1. 「スタート」 「プログラム」 「管理ツール (共通)」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。



画面 1.5 Windows NT 診断プログラムの起動

2. 「リソース」タブを選択します。最初に「IRQ(I)」の画面が表示されます。

	000000		HAL 57-38	3000 E
81 60 64 12 11	allot2p+ Social Social Filosov BO42p+t afapi		0 0 0 0 0 0	54 54 54 54 54 54 54 54
γ				

**画面**1.6 リソースの表示(IRQ)

† 本製品のモデム機能は「Serial」として表示されます(全てのシリアルデバイスで共通)。 数の「Serial」のうち、本製品を特定したい場合は「PCカード(PCMCIA)」(コントロール パネル)を使用してリソースの値を照合して判別して下さい(画面 1.3 ~ 1.4 を参照)。  次に、「I/O ポート(T)」ボタンをクリックします。I/O Base Address (「ア ドレス」の先頭値)を確認します。

	8	+44、97-3を含める(出)
7452	7/1/3	//2 種類 ▲
ATE - BTK	Mag-i	D ISA
ACE - 1716	Parport	D DA
050 - 058	Vgs5ave	0 PCI
2004 - 03DP	Relian .	0 1745
DOE - DICE	Falles	0 1925
0004 - 0104	Falves	0 戸部
1008 - 0108	FeVer	0 7725
100 - 105	Proppy at an i	D 55A
077-0077	Fixeny	0 GA
376 - 37E	Serial	0 ISA
		2. D. D. J.
0 - 8975 16 - 8976 17 - 8976 16 - 1976	Fragery et act Fragery Ser fail	0 54 0 54 0 54

画面 1.7 リソースの表示 (I/O Base Address)

次に、「メモリ(M)」ボタンをクリックして Mapped Memory Base (「アドレス」の先頭値)の画面を表示します。

		HAL 97-28	190500 F
7Fb.t 080000808 - 080	197743 1089 Abul Ster	8	BA BA

- 画面 1.8 メモリ (Mapped Memory Base)
- 5. 「OK」をクリックして終了します。

## step3. 「ネットワーク」の設定

 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」と進み、「ネットワーク」ア イコンをダブルクリックしてください。



画面 1.9 「ネットワーク」

 下のダイアログが表示されます。「今すぐインストールしますか?」の問いに 対して、「はい(Y)」をクリックしてください。

ットワー	ウの構成
A	Windows NT キットワークがインストールされていません。
	今すぐインストールしますか?
	はいないしいいえいの

画面 1.10

「ネットワークセットアップウィザード」が起動します。「ネットワークに接続(W):」にチェックマークを付け、「次へ(N)>」をクリックしてください。



画面 1.11

4. 下の画面が表示されたら、「一覧から選択 (S)…」をクリックしてください。

1 mon	1秋市開始」をからするとものワークフリントの秋市を開始します。
and the	秋季間的少
015	8-97-9 78'7 %A)
Sec.	
Sec. 1922	Alter C. Manager



5. 本製品用のドライバーを選択します。<u>LM33-PCMドライバーディスクをフ</u> <u>ロッピーディスクドライブに挿入し</u>、「ディスク使用 (H)」ボタンをクリック してください。

קאצריצת ר-ריו-ו	
Advanced Micro Devices AM2100/AM1500T Adapter	
Alied Telesis LAISA Adapter	-
Alied Telesis LAPCM Adapter	_
Allied Telesis RE2000 Adapter	1000
Allied Telezyn AT1100 Ethernet Adapter	<b>T</b>

画面 1.13

 下のダイアログが表示されたら、ディレクトリとして「A:¥windows.nt」を 入力し、「OK」をクリックしてください。(ここでは、フロッピーディスクド ライブ名をA:と仮定します。)



7. 「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」の名前を確認し、「OK」をクリック してください。

OEM オプションの選択 🛛 🗙 🗙
ハートウェア製造元のディスクでサボートされている ソフトウェア を選択してください。
ʿAllied Telesis LM33-PCM 7찾기경
OK ት፥ንቲル ^ルブ( <u>H</u> )

画面 1.15 アダプターの選択

8. 「ネットワークアダプタ (A):」の「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」に チェックマークがついていることを確認して、「次へ (N):」をクリックして ください。

	【検索開始】 きり・クするとネックーク アジフ など検索を開始します。
Le La	8(27730))
BUL	3-17-9 197982
Ž	M BABed Telepis LM33-PCM 79'3'S
10	474- C (819)-

画面 1.16

9. 使用するネットワークプロトコルにチェックマークを付け、「次へ (N):」を クリックしてください。お客様のネットワークでどのようなプロトコルが使 用されているかは、システム管理者にご相談ください。

6	キャリア・クマングログンド・クリングの日本の一ていたり、し、マルルの単金 は、シストム学校会に対応していたり、し、
	4479-9 1303466 第一章 1980年年月2013年 第二章 1980年年月2013年 第二章 1980年年月2013年
	-107-5-00702-

画面 1.17 プロトコルの選択

10. 使用するサービスを設定し、「次へ (N)>」をクリックしてください。お客様 のネットワークでどのようなサービスが使用されているかは、システム管理 者にご相談ください。

6	たの一知コス、333ムニムーでり31-6月れたサービロが見われています。 (一知)やう場例を知ったちとこの一知に認知できます。
	##19~9 サービス(E) 12 ■ 12 = 12 5 12 ■ 12 = 12 5 (29-7) + (2 12 ■ 1 - 22 + 14) 12 ■ サース2 + - (4) 12 ■ サース2 - (4)
	一個作為感動型。

画面 1.18 サービス

11. メッセージを確認して、「次へ (N)>」をクリックしてください。



画面1.19

 Windows NTのマスターCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、Windows NTファイルの格納ディレクトリである「E:¥i386」を入力し、「続行」をク リックしてください。(ここではCD-ROMドライブをE:と仮定します。)



画面 1.20

 続いて本製品の設定画面が表示されます。
 IRQ・IOBaseAddress・MappedMemoryBaseの3項目は他のデバイスと重 複しない適当な数値を選択します。詳細は本書「step2. ハードウェアリソー スの確認」をご覧ください。

PCIC Base Address (PCMCIA コントローラの使用する I/O ベースアドレ ス)はご使用のコンピュータのマニュアルで値を確認し、その値を入力して ください。デフォルトは 3E0h です。

PCMCIA Slot は本製品を挿入しているスロットの番号(1または2)を選択 してください<sup>†</sup>。デフォルトは1です。

CentreCOM LM33-PC	CM LAN Card 🗙
IRQ	A
IOBaseAddress :	300 💌
MappedMemoryBase :	d0000 💌
PCIC Base Address	3EO
PCMCIA Slot	2 💌
O K Cancel	HELP

全ての項目を設定したら「OK」をクリックします。

画面 1.21 ハードウェアリソースの設定

† スロットの番号は「1」「2」で指定しますが、ご使用のコンピュータが異なる表記を用いている場合もあります。一般的には「0」「1」で表記されている場合は「0」「1」、「1」「2」、また「上」「下」で表記されている場合は「上」「2」、「下」「1」と置き換えればよいようですが、機種によっては逆の場合もありますので、必ずコンピュータのマニュアルでご確認下さい。

 コピーが始まります。手順9で「TCP/IPを使用する」と設定した場合は 「DHCPを使用するか?」を質問されます。ここでは、デフォルトである「いいえ(N)」をクリックすると仮定します。



**画面**1.22 TCP/IP **のセットアップ** 

15. 手順14で「DHCPを使用しない」設定としたので、「TCP/IPのプロパティ」 としてIPアドレスなどの値を促されます。下に入力例を示します。これらの 値は、お客様の環境における値を入力してください。

icrosoft TCP/IPのプロペティ ?					
P 7127 DNS WINS	7122	<b>∦-</b> ∓0	ケ]		1994 - 1987 1997 - 1997
DHOP サーバーから、IP 7 につわられてたことができ おからつないまたにからり てください、	は、「	から	049 0HG	17-27-27 19-27-19 19-27-19 19-27-19	パラカージに自動的 1930、場合は、 1937、場合は、 1937、今月二、入力し
797 %(E) [D] Allied Telesis LM3	0-PCM	1973			•
C DHCP #-n"-th	6117	1,220	170	e	
□ ● P 712世指定1	165	-			
P 751,242	150	087	025	110	
100xx h47th	295	255	295	0	
77161 71-17200	190	087	828	032	
					Ities.

画面 1.23 TCP/IP のプロパティ (IP アドレス)

 次に、DNS (Domain Name System) の設定をします。「DNS」のタブをク リックしてください。下に入力例を示します。

ALL IN LOAD MINE	712 1-10	7]	
1/9()/2-4/)394 (24 \$31-8(6) (unveliable	80	Parage Tourised Halest	1.00.B
- DWS 9-七2,25株中日 (1997)194	U\$\$		
156874616			T-464
-100-	NORD-	1000	1
And Information	0		上へ倒す
			下へ894
			4

画面 1.24 TCP/IP のプロパティ (DNS)

 続いて、「WINS (Windows Internet Name Service) アドレス」の設定を 行います。下の画面では、「Windows 名前解決に DNS を使う (N)」を仮定 しました。必要であれば、さらに「ルーティング」<sup>†</sup>の設定を行い、最後に 「OK」をクリックしてください。これらの設定の詳細についてはシステム管 理者にご確認ください。

icrosoft TCP/IPのブロバティ	?
7717 DHS WINS 7717 [1-707]	
Windows (28-\$rt \$-4 7-6'X WINE)	
[1] Allied Telexis LMID-PCM 79'7'9	•
7542/ wais 9-16-00	
10.41 WING #-x'-GI	
R Wedner 副解説にONE EROSE R Unicosty 参照を打ちな 「Unicosts ER 23-71000	THISCO.
	Crosoft         TOP/TP(0)7         TA         T4           アドス         DMS         MMS         アドス         (エーランド)           Phile         MMS         アドス         (エーランド)           Phile         DD         Attest         1.0           Phile         DD         DD         1.0

画面 1.25 TCP/IP のプロパティ (WINS アドレス)

† この画面は Windows NT Workstation のものです。Windows NT Server をご使用の場合はさらに 「DHCP リレー」タブが存在します。「DHCP リレー」については Windows NT Server のマニュアル をご覧ください。 18. 「次へ (N)」をクリックしてください。



画面1.26

19. 「次へ (N)」をクリックしてください。

6	1.49-958875398598.00.7.
	したっ」またのするとものでの目的にます。 第2年やのわりーで発見するコス(同日 をかめ、てくだめ、5
	< #top 1000

画面 1.27

20. 「次へ (N)」をクリックしてください。下の画面では、「ワークグループ (W)」 に参加すると仮定します。お客様の環境がドメインとワークグループのどち らに参加しているかはシステム管理者にご確認下さい。



画面 1.28

21. 「完了」をクリックしてください。



画面 1.29 ネットワークセットアップウィザードの完了

 22. 下のダイアログが表示されたら、「いいえ (N)」をクリックしてダイアログを 閉じてください。



画面 1.30

23. 続いて、モデムのインストールに進みます。次ページのstep.4にお進みください。

## step4. モデムのインストール

つづいて、モデムのインストールを行います。「モデム」(コントロールパネル)をダブルクリックしてください。



画面 1.31 「モデム」(コントロールパネル)

 「新しいモデムのインストール」ウィザードが起動します<sup>↑</sup>。内容をよく読ん だ上で、「次へ」をクリックしてください。



画面 1.32 「新しいモデムのインストール」起動時

† ご使用のコンピュータで既に他のモデムがインストールされている場合は「モデム のプロパティ」が起動し、モデムのリストが表示されます。その場合は「追加…」を クリックすると、本製品を追加インストールする手続きが行われます。  Windows NT は COM ポートを昇順に検索し、本製品を「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」の名称で検出します。下の画面では COM2 で認識さ れていることが分かります。
 「次々(い)、 キャリックト エイギネー)

「次へ (N)>」をクリックしてください。

	com 上1現20%-553%4
SB	Allast Talasca UNIXI-PCM 79775
-	このからいの機構が正した。機能は、「実施」を知った。一覧 計られる機構を確認していため、5 実施に-
	(105m) (105m) (105m)

画面 1.33 本製品の検出

ご使用のコンピュータで初めてモデムを使用する場合は、電話を発信する場所についての情報の入力を要求されます<sup>†</sup>。各項目について、お客様の環境における値を入力または選択してください。詳細は Windows NT のオンラインヘルプまたは「LM33-PCM-T ユーザーズマニュアル」pp.3-12 ~ 3-13をご覧ください。

>	現在の存在地面積損金しての5次し	
-	Bar Bar	•
	a	
T	5105718	
<u>ə</u> -	6 P-3D C HAND	

**画面** 1.34 所在地情報

+ ここで設定した情報は「テレフォニー」(コントロールパネル)の「所在地情報」タ ブで変更できます。 5. モデムのインストールが終了し、下の画面が表示されます。「完了」をクリッ クしてください。

モデルは正知にたけやりつされました。
設定を変更する場合は、エバローキ (「社会 (任行公) でこの サゲムを運動し、「7回ハライを知った。てくたさい。
(景も四) 売7 4015

画面 1.35 「新しいモデムのインストール」終了時

6. インストールが完了したら、下の画面が表示されます。「閉じる」をクリック してください。

モデムのプロパティ	? ×
全統	
🎯 = 2012K2-9131. 7607	デムがをナデップされています
Ψ'A	报纸先
istow. Adam	B 710/7419
- 71110/02-	]
\$11107E \$101.0 HBM	
[571年ルのフロバラ引き使って、ダイ	作んの方法を変更します。
\$496.071	//7/D
[	<b>#C5</b> 46/68

画面 1.36 モデムのプロパティ

## step5. 「シリアルポート」の設定

続いて、シリアルポートの設定を行います。「シリアルポート」(コントロールパネル)をダブルクリックしてください。

עב 🗠	トロール パジ	おん			- 🗆	×
771/10	D 編集(	E) 表示	W AN	7"(H)		
\$	¢	111	0	100	10	-
PC h-F	SCSI	77"95	インターネ	+-+-+	エンソール	
PCMC.	4	<b>N</b>		8		
#-n'-	サービス	サウンド	システム	12/17/1	$\overline{\tau} = T^*$	
ent-	æ	82	-	*	デリイス	
デバイス	デレフォニー	キットワーク	パラレル	フォント	アリンタ	
5.	4.9	100	*			
C I	200	2	6	-		
×1.4	Y/V777	τ <i>τ</i> 4	補助	HALL HI	<b>JENK</b>	
B	90					-
26 個の	オブジェクト					A

画面 1.37 「シリアルポート」(コントロールパネル)

 下の画面が表示されたら、本製品が接続されている COM ポート<sup>†</sup>(例では COM2)を選択し、「設定…」をクリックしてください。

シリアル ポート	×
π°−ト( <u>P</u> ):	キャンセル
COM1: COM2:	設定(S)
	追加( <u>A</u> )
	肖ᆙ涂( <u>D</u> )
▼	<u>^⊮プ(Ħ)</u>

画面 1.38 ポート番号の選択

+ ポート番号は「モデムのプロパティ」(画面 1.36 参照)で確認できます。「モデムの プロパティ」はコントロールパネルの「モデム」をダブルクリックすると表示でき ます。  設定画面が表示されます。「ボーレート」は 115200 に、また「フロー制御」 は通常は「ハードウェア」に設定してください。他の設定項目はデフォルト 値のままで構いません。(基本的にはモデムの設定と同じ値にすると考えてく ださい。)





- 4. 「OK」をクリックし、「シリアルポート」を終了します。
- 5. 以上でインストール作業は終了です。<u>コンピュータを再起動して、</u>設定内容 を有効化して下さい。

## step6. リソース値の確認

再起動したら、最後に「Windows NT 診断プログラム」(起動方法はstep.2を参照のこと)の「リソース」タブでリソース状況を確認して下さい。本製品のモデム機能は "Serial" として、また LAN 機能は "LM33PCM" の名称で表示されています。下の画面は一例です。

1. IRQ

(UM)	E) 7(H)</th <th></th>	
-950	9276 F'027W F'907 AU	チービス   37-ス   標地
		HAL 57-3を含めるビ
RQ.	20/42	- バス 種類
1	(8042pr1	0 ISA
8	Serial	D ESA
:	Serial Flores	0 154
0	LMSPCM	D ISA
2	i0042art	0 654
4	adapti	D ISA

画面1.40 IRQ

2. I/O Base Address



画面 1.41 I/O Base Address

3. Mapped Memory Base

		HAL 5%-3	1000 E
2000-40000 - 20004FF. 0000-0000 - 2000-000 00000000 - 2000-000 00000000 - 2000-000	VgxRame LM30CM tgiuH0	0	PCI SA SA

画面 1.42 Mapped Memory Base

なお、デバイス毎にリソースを一覧表示することもできます。「デバイス」ボタンをク リックし、モデム機能については「Serial」を<sup>†</sup>、またLAN機能については「LM33PCM」 を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。下の画面はLAN機能(LM33PCM) についての表示画面です。

9/-2071任期 パス 設定 いの 期間 63A 0300 - 035F 月初期日 83A 0000 - 005F 月初期日 15A 0000000 - 800000FFF 割1555要求 15A 10	7-3の借有着 7-3の使意(8)	UKRAPCH		
	9/~2の推動 70 範囲 45戦回 即1込み要求	1/2 ISA ISA ISA	0000 - 001 F 0000 - 001 F 000 D0000 - 0000017F 10	2

- 画面 1.43 リソース値一覧 (例: LAN 機能)
- †「Serial」を選択した場合は、全てのシリアルデバイスの情報が一覧表示されます。

# 4 モデムの詳細設定

## 4.1 インストールの確認

次に、モデムのインストールが正常に行われているかを確認します。確認には「ハイパー ターミナル」(Windows NT添付の通信ソフト)を使います<sup>+</sup>。

 「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「ハイパーターミナル」と 進み、「ハイパーターミナル」を選択、起動します。



画面 2.1 ハイパーターミナルの起動

2. 「新しい接続」ダイアログが表示されます。「名前」の欄には適当な名称を入 力し、「OK」をクリックしてください。



画面 2.2 「接続の設定」1

+ ここでは「ハイパーターミナル」を用いて説明を行いますが、他の通信ソフトでも確認できます。 その場合は通信ソフトのマニュアルをご覧の上で「ATコマンドを直接入力する」設定にし、本マ ニュアル(手順5)に記載のものと同じコマンドを実行してください。

27

3. 続いて、下の画面が表示されます。「接続方法(N)」で本製品が接続されているポート番号<sup>†</sup>(例ではCOM2)を選択し、「OK」をクリックします。

接続の設	定 <b>? ×</b>
LM33tes	t
電話番号の情報	を入力してください。
国番号( <u>C</u> ):	日本 (81)
市外局番(E):	03
電話番号( <u>P</u> ):	
接続方法( <u>N</u> ):	COM2 Allied Telesis, K.K. LM33-PCM 7分う物 COM1 COM2

**画面**2.3 「接続の設定」2

- † ポート番号は「モデムのプロパティ」で確認できます。(画面 1.36 参照)
- 4. ポートの設定を行うダイアログが表示されますので、例の通り(=「シリア ルポート」(コントロールパネル)の設定と同じ)に設定し、「OK」をクリッ クしてください。

COM2のプロパティ	?	Х
「ボートの設定」		
ビッド/秒(風): [115200		ן ר
データビッド(D):  8		
ハツティ(空): なし	•	
ストッフ <sup>*</sup> ビット( <u>S</u> ): 1	•	
7ロー制御(E): ハートウェア Xon / Xoff の一 ジェア	<u>-</u>	
	<u>ज्रा</u> स)	
OK ++>セル	適用(	<u>a</u> )

画面 2.4 ポートの設定

28

5. ターミナル画面が表示されます。この状態でキーボードからATコマンドを 直接入力できますので<sup>†</sup>、「AT」と「ATI3」の2つのコマンドを入力してくだ さい。下の画面の通りにリザルトコードが表示されれば、本製品のモデム機 能のインストールは正常に終了しています。

DF 93 DB F
АТ ОК АТІЗ V1.451-V34_LP АТКК 1.5 ОК

+ ATコマンド・リザルトコードについての詳細は「ユーザーズマニュアル」第7部「コ マンドリファレンス」をご覧ください。

### 4.2 通信に関する設定

次に、データ通信に関する詳細設定を行います。

この項で設定する項目は、市販の通信ソフトで通信する場合は通信ソフト側でも設定で きますので、その場合は通信ソフトのマニュアルをご覧ください。なお、Windows NT の「モデム」(コントロールパネル)と通信ソフトとで異なる設定を行った場合は<u>通信ソ</u> フトで行った設定内容が優先されます。

以下、ここでは Windows NT の「モデム」による設定の手順を説明します。

 コントロールパネルの「モデム」をダブルクリックで起動すると、「モデムの プロパティ」が表示されます。本製品は「Allied Telesis LM33-PCM アダ プタ」の名称で表示されます。「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」を選 択して、「プロパティ…」をクリックしてください。

B -me	
174 174	14後先
Alied Telesis I	LM33-РСН 7977 сон2
iffea).	#####
91974-0380定	
外的元 聊以	峨珩
	and the second sec
(\$*f\$AØ7`0A'Fd	を使って、デイヤルの方法を実更します。

画面 2.6 モデムのプロパティ

「全般」タブが表示されますので、「最高速度」を 115200 に設定して下さい。
 詳細はユーザーズマニュアル第4部2.5 項をご覧ください。

Ilied Te	alesis LM33-PCM 79' ? 🗙
全般 損得	1
Þ	Alfied Telesis LM33-PCM 757'8
#~h	00M2
	₩ ₩
最高速度	8
	115200
	□ この速度でのみ損得回
	0K 44)/8L

画面 2.7 「全般」

次に、「接続」タブでデータビット、パリティ等の設定をします。これらの項目はお客様の環境に応じて設定して下さい。(詳細はWindows NTのマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。)また、「呼び出しオプション」についてはユーザーズマニュアル第4部2.2項を、「接続オプション」については第4部2.7項もご覧ください。

( 19622 [		
FCAEL37562- F-315400	1	
137400	GL.	-
21+37 E'3HS2	1	
相洗875-2		
図 トンを持って	けんちがイヤルする	5480 E
同が作用の	相絶らんフラトに	60 B
E ARREGO	杨节时曾位	○ 分
		Ballo A

**画面**2.8 「接続」

4. 画面 2.8 で「詳細…」をクリックし、フロー制御、ログの記録などを設定し ます。詳細は Windows NT のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧く ださい。

接続の詳細設定	?>
(2) エデー新聞を使うな)	
<ul> <li>協助に必要(b)</li> </ul>	
⑦ デー(約)圧縮(0)	
□ 移動体験(は5~3/5~7013)を使う(()	
12-14日を決定)	
In-P.9±2 (INTS/CTS/0H)	
C 171927 0004/30(171)(5)	
実調方式ない	
標準	
連加限定と	
09/04289(Q)	
	06 4+3/28
	443/26

**画面** 2.9 詳細設定

なお、相手側モデムが移動体通信機器に接続し、無線によりデータを送信し てくる場合は「エラー制御を使う」の「移動体通信エラーコレクションプロ トコルを使う」を選択するとともに、「追加設定」に "S10=50" を入力しま <u>す。</u>詳細はユーザーズマニュアル pp. 4-22 ~ 4-23 をご覧ください。

# 5 登録内容の削除と再インストール

#### 5.1 概要

本製品のドライバーはLAN機能とモデム機能を連動してインストールするように設計されています。したがって、登録内容を一旦削除し、再びドライバーをインストールする 必要がある場合はご面倒でもLAN機能とモデムの両機能について削除、および再インス トールの手続きを行ってください。 どちらか一つの機能だけを削除、または再インス トールした場合は動作に不具合が生じる可能性もありますので、必ず本マニュアルの手 順にしたがってそれらの作業を行うようにしてください。

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。

step.1 LAN 機能(LAN 機能用ドライバー)を削除します。

- + ドライバーを削除しても、そのアダプター(本製品のLAN機能のこと)にバインドしてい たプロトコルやサービスは削除されません(一部の設定値、例えばTCP/IPにおけるIPアド レスなどは削除されます)。したがって、アダプターを再インストールすれば、再びそれら のプロトコル、サービスなどを使用できます。
- step.2 モデムを削除します。
- step.3 コンピュータを再起動し、「LAN 機能」 「モデム」の順でドライバーを 再インストールします。

## 5.2 手順

# step.1 LAN 機能の削除

 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「ネットワーク」とたどっ て行き、「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブをクリックしてください。

1230697 14900 1400 1403 1403 1403 1 1230697 1374260 1800 1403 1403 1403 1	49-9799	719735 7777 7189	776F]	
18766). ( 18985) 734776). ( 1896) 1870/199	923 Aller	Telerie LMOI-PON	1923	
Brank)	(Blick)	10 889402	1 11-0-0	1 10000
	187(8%)	IL Merce	- San rege	

画面 3.1

2. 「ネットワークアダプタ (N):」で「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」を 選択し、「削除 (R)」ボタンをクリックしてください。下の画面が表示された ら「はい」をクリックします。

繁情	×
Δ	この操作はエンギーもいをいたしから発展します。 再度インストールすると参は、その前にいステムを再起動してくださ し。
	統行しますかや
	121.00 Lit.i2.00

画面 3.2

# step.2 モデム機能の削除

3. 「マイコンピュータ」 「コントロールパネル」 「モデム」とたどって行き、「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」を選択します。

モデムのプロパティ <b>?</b> ×
全般
このコンピュータコは、次のモデムがセットアップされています:
开始
Allied Telesis LM33-PCM ፖጵጎን COM2
〕 追加( <u>A</u> ) 肖明徐( <u>R</u> ) フ <sup>*</sup> ロハ <sup>*</sup> ティ( <u>P</u> )
「ダイヤルの設定
ダイヤル元 新しい場所
[ダイヤルのプロバティ] を使って、ダイヤルの方法を変更します。
<u>፟</u> ፟ቖ፞፞፞፞ጚ፞ቑሖፙፇዄኯኇ፞ጘ <u>ወ</u>

画面 3.3

4. 「削除 (R)」ボタンをクリックしてください。下のダイアログが表示されたら 「はい」をクリックしてください。

₹デム †	セットアップ
?	システムからモデム 'Allied Telesis LM33-PCM アダプタ' を削除しますか <b>?</b>
	$(\operatorname{div})$ $(\operatorname{div})$

画面 3.4

5. 「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」が消えています。「閉じる」をクリッ クしてください。

けいがわわりされています
B) 7/8//748)
(竹4の方法を実更します。 1457(1 <u>0</u> )

画面 3.5

## step.3 **再起動~再インストール**

- 1. コンピュータを再起動し、変更内容を有効化します。
- 再インストールする場合は「3.3 インストール手順」のstep.1から再び実行してください。ただし、再インストールの場合は以下の点が異なりますのでご注意下さい。

#### LAN 機能のインストール

「マイコンピュータ」 「コントロールパネル」と進み、「ネットワーク」 「アダプタ」 「追加…」と進んで下さい。step.3の手順3からの手順を再 び実行します。

#### モデムのインストール

誤ってLAN機能のインストールの前にモデムのインストールを行うとデバイ ス名として「標準モデム」が表示されることがあります。この場合は一旦イ ンストールをキャンセルし、本マニュアルにしたがって LAN 機能のインス トールからやり直して下さい。その後、デバイスは「LM33-PCM アダプタ」 として表示されるようになります。

# 6 BBS への接続

この項では、ハイパーターミナルを使って BBS<sup>†</sup>へ接続する手順を説明します。 ここでは、例として東京都内(市外局番が03の地域)から NIFTY-Serve(ニフティ株 式会社)の ROAD7(33,600bps 対応)に接続します。

† 本書ではオンラインサービス・商用パソコンネットワークなどを総称して「BBS」と呼び ます。

### 6.1 接続までの流れ

6.2 項に進む前に、以下のものを準備して下さい。

- 1 **ハイパーターミナル** ハイパーターミナルは Windows NT に標準添付されている通信ソフトウェ アです。詳細は Windows NT のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧 ください。
- 2 BBS **のユーザー** ID **(アカウント)** ユーザー ID の入手方法は各 BBS にお問い合わせください。 本書では NIFTY-Serve のユーザー ID を既に取得しているものとして説明し ています。
- 3 BBS **のアクセスポイントの電話番号** 本書では NIFTY-Serve の ROAD7(東京)の番号<sup>↑</sup>を使用します。
  - + アクセスポイントの電話番号は頻繁に新設または変更されます。お使いの時点での 最新の情報をお確かめください。

# 6.2 接続の手順

(1)「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「ハイパーターミナル」と 進み、ハイパーターミナルを起動します。

<ul> <li>100 年10</li> <li>第21年った7(140)</li> <li>第259</li> <li>11支払</li> <li>11支払</li> <li>11支払</li> <li>11支払</li> </ul>	Cascel     Balancel     Ba	
---	---	--

画面 4.1 ハイパーターミナルの起動

(2)「接続の設定」ダイアログが表示されます。
 「名前」に"NIFTY-Serve"(必ず半角文字をご使用ください。)と入力します。
 NIFTY-Serveの設定ファイル<sup>†</sup>に使用するアイコンを一覧から選択し、「OK」
 をクリックします。

接続の設定 ? ×
副 新しい接続
名前を入力し、アロンを選んでください。
名前( <u>W</u> ): NIFTY-Serve
ፖ/ጌጋው:
OK キャンセル
 画面 4.2 接続の設定

† Windows NT では設定ファイルを「セッション」と呼びます。
(3)「電話番号」ダイアログが表示されますので、NIFTY-Serve に関する情報を 入力してください。「接続方法」は「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」
 を選択して下さい。全ての項目を正しく入力していることを確認したら、 「OK」をクリックします。

接続の設	定 <b>? ×</b>
	Serve
電話番号の情報	を入力してください。
国番号( <u>C</u> ):	日本 (81)
市外局番( <u>E</u> ):	03
電話番号( <u>P</u> ):	5711-8520
接続方法(N):	Allied Telesis LM33-PCM アタウタ 🔹
	OK キャンセル

画面 4.3 電話番号の設定(例:東京 ROAD7)

(4) 「接続」ダイアログが表示されます。内容を確認の上、間違いがなければ、「ダ イヤル」をクリックして NIFTY-Serve に電話をかけます。

接続			
	TY-Serve		
電話番号	0 5711-8520		変更( <u>M</u> )
所在地(L): 通話力-ト:	<b>新しい場所</b> なし	•	<u> </u>
		%1	ヤル キャンセル

**画面** 4.4 接続

**注** この画面は、「ダイヤルのプロパティ」(コントロールパネルの「テレフォニー」)で電話番 号を0発信に設定した場合の例です。

39

(5) 電話回線への接続が始まると、「接続」ダイアログは下の画面のように変わり ます。「状況」の欄は「接続中」 「ダイヤル中」と接続の状況を表示します。

接続	
25	NIFTY-Serve 0 5711-8520 Allied Telesis LM33-PCM アタフタ
_ 状況-	<u>ጵ</u> ገተሥ <del>ተ</del>
	今すぐがイヤル キャンセル

画面 4.5 回線に接続

話し中の場合は、「状況」の欄に「通話中」と表示されます。少し時間をおいて「今 すぐダイヤル」をクリックし、再び接続を試みてください。

- (6) 接続が完了すると、「接続」ダイアログが消え、ハイパーターミナルのターミ ナルウィンドウがアクティブになります<sup>†</sup>。下の画面は接続が完了し、まだ 何も入力がない状態です。
  - + ターミナルウィンドウが表示されるタイミングは「モデムのプロパティ」で設定し ます。



画面 4.6 ターミナルウィンドウ起動時

(7) ROAD7 でのログオン手順は従来のものと若干異なります。画面 4.6 の通り
 に入力して、Login: Password: Enter Connection-ID と進んで下さい。
 なお、Password:に対しては文字は入力せず、Enter(改行)キーのみを入力
 します。



- (8) 続いてユーザーIDとパスワードを入力します。入力したパスワードが正しい ものとして認識されると、NIFTY-ServeのTOP画面が表示されます。これ でNIFTY-Serveへの接続は完了です。
- (9) NIFTY-Serveからログオフするには、「>」のあとにoffと入力します。サービス終了の手続きが行われ、メッセージが表示されます。

7(l/E) 編集(E) 表示(M)	通信② 転送① へ471日	
12 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15		
RBLIG OUT 97/04/25 10:19:20	6	
1977-14798 199 し ウービス第月 秋葉 2 香子を シムノスターンタン 2 香子を シムノスターンタン 2 香子を シムノスターンタン 2 香子を シムノスターンタン 1 クロタンクローナー 1 クロタンクラーナー 1 インタースットノビスマート 単純 2 野丁	<ol> <li>電子メード</li> <li>(ロシミュシーター</li> <li>(ロシミュシーター</li> <li>(ロシミュシーター</li> <li>(ロシミュシーター</li> <li>(ロシーター</li> <li></li></ol>	
LBS 18 97/04/25 LBS 8/1 97/04/25	12 27 47 13 21 12	
これの時間は、20分15月でした。 これの第二次のかとうこのいました	-	
Sector and the sector of the		

画面 4.7 ログオフ

(10) 引き続き、NIFTY-Serveは電話回線の切断処理を行います<sup>†1</sup>。電話回線が切 断されるとウィンドウ左下に「切断」と表示されますのでご確認ください。

ご利用誠にあり 	いか`
切断	動

画面 4.8 電話回線の切断

- + 1 ROAD7の回線切断の手続きは従来のROAD2/3/4/5と異なり、NIFTY-Serve 側で自動 的に行われます。
- (11) ハイパーターミナルを終了します。「ファイル」メニューの「ハイパーターミ ナルの終了」を選択します。次のダイアログが表示されたら、「はい」をク リックして NIFTY-Serve の設定ファイル(セッション)を保存して<sup>†2</sup>終了 します。

<b>ハイパー</b>	ターミナル		×
?	セッション N	IFTY-Serve を	を保存しますか <b>?</b>
	はい①	いいえ(N)	キャンセル

画面 4.9 ハイパーターミナルの終了

+ 2 セッションの保存後に各設定値を変更する場合は手順(4)の「接続」ダイアログで「変更」をクリックして下さい。

(12) セッションが保存されると、「ハイパーターミナル」の下に「NIFTY-Serve」 セッションが表示されます。(画面 4.10 参照)。次回から NIFTY-Serve に接 続するときには、この「NIFTY-Serve」を選択するだけで自動的に NIFTY-Serve に接続できるようになります。(手順6から始まります。)



画面 4.10 セッション (設定ファイル)の選択

# 7 ダイヤルアップ IP 接続

第7項では、「ダイヤルアップネットワーク」を使ってインターネットプロバイダ(以下、「プロバイダ」と表記)にダイヤルアップIP接続をする手順を紹介します。 ここでは、プロバイダの例として bekkoame(株式会社ベッコアメ・インターネット) に接続します。

なお、実際には接続する手順はプロバイダによって異なりますので、bekkoameと異なるプロバイダに接続する際には各プロバイダから提供されるマニュアルを必ずご覧ください。

#### 7.1 準備

7.2項に進む前に、以下のものをご用意ください。

- 1 ダイヤルアップネットワーク ダイヤルアップネットワークがまだインストールされていない場合は、「マイ コンピュータ」ウィンドウの「ダイヤルアップネットワーク」アイコンをダ ブルクリックして下さい。ダイヤルアップネットワークのインストール手続 きが始まりますので、画面の指示にしたがってインストールして下さい。
- 2 TCP/IP TCP/IPがまだインストールされていない場合は、「コントロールパネル」 「ネットワーク」と進み、TCP/IPをインストールして下さい。
- 3 インターネットツール

Windows NT では標準として Microsoft Internet Explorer ・FTP・Telnet の3種類のインターネットツールが装備されています。その他にも様々なインターネットツールがありますので必要に応じてご用意ください。

#### 4 プロバイダのユーザー ID (アカウント)

ユーザーIDの入手方法は各プロバイダにお問い合わせください。 本書では bekkoameのユーザーIDを既に取得しているものとして説明して います。

5 **プロバイダのアクセスポイントの電話番号** 電話番号は各プロバイダにお問い合わせください。また、アクセスポイント は頻繁に新設または更新されますので必ず最新の情報をお確かめください。

44

### 7.2 接続の手順

ダイアルアップIP接続を行う手順は以下の通りです。なお、ここではダイヤルアップ ネットワークをインストール後に初めて起動する場合について説明します。

 「マイコンピュータ」「ダイヤルアップネットワーク」と進み、「ダイヤル アップネットワーク」アイコンをダブルクリックします。



画面 5.1 「ダイヤルアップネットワーク」

2. 下のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックしてください。



画面 5.2

 「新しい電話帳のエントリウィザード」が起動します<sup>†</sup>。プロバイダを識別す る適当な名称を入力してください。ここでは、「bekkoame」とします。また、 「電話帳エントリについてはよく知っているのでプロパティを直接編集した い」チェックボックスをチェックしてください。



**画面** 5.3 ウィザードの起動

- † Windows NTではリモート接続の設定ファイルを「エントリ」と呼びます。ダイヤル アップ IP 接続をするプロバイダの設定は Windows NT の電話帳に「エントリ」とし て登録されます。
- エントリの編集画面が表示されます。「基本」タブでは電話番号、エントリ名 などの基本的な設定を行います。「ダイヤル方法」は「Allied Telesis LM33-PCM アダプタ」を選択します。その他詳細についてはオンラインヘルプを ご覧ください。

基本	9-11- 20071 144.091	×25
DH/A/D	bekkoane	
20100		
電話書号包計	E Araca Mila mahala dellara	その他と
	17074-** 9974607 UN TPELEOQU	
<b>F14世纪</b>	Allied Telesis LM33-PCM 79779 •	構的(2)-

画面 5.4 電話帳のエントリの編集(基本)

 続いて、「サーバー」タブを選択します。ダイヤルアップサーバーの種類は 「PPP; Windows NT. Windows 95 Plus, インターネット」を選択し、ネッ トワークプロトコルは「TCP/IP」のみをチェックします(bekkoameの場 合)。その他の項目についてはオンラインヘルプをご覧ください。

ト   1944  -そか この/10 の)教定(g	974   • •	X25
1-2水 0月/1日 の撤定(2	•	Ì
トキオ OP/IP の観竜(G	•	
0月/10 の数定位	2	í.
ロタイマ の教室に	2	
And a state of the second second second		
-	- 1	4-2-04
	0	CK

画面 5.5 電話帳のエントリの編集(サーバー)

6. 画面 5.5 で「TCP/IP の設定」ボタンをクリックし、プロトコルに関する詳 細設定を行います。プロバイダから提供される値を入力し、「OK」をクリッ クします。

PPP TCP/IP の	設定	Ē		?	Х
⊙ サーバーが割り当てた IP	アドレス	S			
□ □ P アト・レスを指定する(P)					
IP 7ドレス( <u>A</u> ):	0	0	0	0	
○ サーバーが割り当てたネー	ムサーハ	· 7۴	レス( <u>E</u> )		
┌─◎ ネーム サーバー アトシスを指	定する	( <u>M</u> )			
די סאליד DNS( <u>D</u> ):	202	011	252	002	1
セカンタリ DNS(N):	202	011	252	200	1
プライマリ WINS( <u>W</u> ):	0	0	0	0	1
セカンタリ WINS ①:	0	0	0	0	1
■ IP ハッジ 一圧縮を使うCJ ■ リモート ネットワーク上のテウォル	Ւ <i>ケ</i> ∽⊢ν	フェイをſ	使う(G)		
	ОК		4	ャンセル	

画面 5.6 PPP TCP/IP の設定

 続いて「セキュリティ」タブを表示します。「クリアテキストを含む任意の認 証を受け付ける」をチェックし、「OK」をクリックして下さい。(bekkoame の場合)

登本	4-11-	T	29971		t4.577		×25
國政地國會會	の原則―	_				-	
④ 物疗 并存	いを含む狂き	WIN .	TE WHITE	75公?			
O 暗号化3	れた翌日の	teee	Gidtin				
C Nicrosof	• 暗号化即新	60,749	のナロナラ	W)			
D 7	-9老暗号化? (在の2~デー)	する(1)) 長とがつ	10-11600	100			
1729-1-18	保肌成增	9-1					

画面 5.7 電話帳のエントリの編集(セキュリティ)

8. 「ダイヤル」をクリックして下さい。

	デイオルする電話幅2015(8)(8)	
BIL	bekksare	*
200	新潮設	<ul><li>その他知り・</li></ul>
2	電話番号のブレビォー9/)	
	9 5610-2332	
1	育(自元(2))	
	INILA 1887所	
and		所在地心。
A COURSE		

画面 5.8

9. bekkoameのユーザー名とパスワードを入力してください。「ドメイン名」は 空欄のままで結構です。入力が終わったら「OK」をクリックしてください。

bekkoam	e への接続 🛛 ? 🗙
リモート ネットワーク 力してください。	ドメイソにアクセスできるユーザー名とパスワードを入 ,
ユーザー名(山):	nami
ハ*スワート*( <u>P</u> ):	жжжж
F342( <u>D</u> ):	1
	□ パスワードを保存する( <u>S</u> )
	OK キャンセル

画面 5.9 ユーザー名とパスワードの入力

10. bekkoameへの接続が始まります。

bekkoame に接続してい
ユーザー名とパスワートを検証中
キャンセル

画面 5.10

11. 接続が完了すると、以下の画面が表示されます。内容をよく読んだ上で、 「OK」をクリックしてください。

接続の	D完了	X
1122	サートキーハーに正常に接触。主した。キャトワークに高級編 している場合と同じたり、「勝利の Western HT 7 1070」 やユートボタル優快にとかできます。 「個時を切除したし、対象を増加すること、なか バートの (タイネルウンドルヤットを) をちゃうつでかんしてにさい) (タイネルウンドルマークを2) をちゃうつでかんしてにさい) (タイネルウンドルマークを2) をちゃうつでかんしてにさい) (タイネルウンドルマークを2) (タイネルウンドルマークを2) (タイネルウンドルマークを2) (タイネルウンドルマークを2) (タイネルウンドルマークを2) (タイネルウンドルマークを2) (タイネルウンドルマークを2) (タイネルマーク・マーク・アーク・アーク・アーク・ (タイネーク・ (タイネーク・ (タイネーク・ (タイネーク・)) (タイネーク・ (タイネーク・ (タイネーク・ (アイネーク・ (タイター)))(タイタイタイタイター)(タイター)(タイター)( (タイター))( (タイ))( ( ( ()))( ())( (	
	図 が竹根和に開びる図) □ 今後、このみを一つを表示しない場合 □ ox	

画面 5.11 接続の完了

- 12. WWW ブラウザなどのインターネットツールを起動します。
- 13. 接続を終了するにはタスクバー(スクリーン右下)のダイヤルアップモニタ アイコン(画面 5.12)をマウスの右ボタンでクリックし、「切断」 「bekkoame」を選択して下さい(画面 5.13)。



画面 5.12 ダイヤルアップモニタアイコン

	<b>ダイヤルアップ モニタを 開く(<u>O</u>)</b> ダイヤル( <u>D</u> )	•
bekkoame	切断(山)	►
בי זענ י	閉じる( <u>C</u> )	

画面 5.13 bekkoame の切断

14. 下の画面が表示されたら、「はい」をクリックしてください。以上で切断の手 続きは終了です。

ダイヤル	/アップ ネットワーク モニタ 🛛 🛛 🗙		
⚠	bekkoame から切断しますか?		
	(はい) いいえ(N)		

**画面** 5.14

## 付録 Windows NT での注意事項

#### 1. DIAGAT.EXE (ハードウェア診断プログラム) について

本製品に付属のハードウェア診断プログラムDIAGAT.EXE**は、**MS-DOS**モードでのみ動 作します**(Windows NTの「コマンドプロンプト」ウィンドウでは使用できません。)。 ご使用のコンピュータがMS-DOS環境に切り替えられる場合のみ、 本プログラムを実 行できます。

### 2. 本製品を使用しないとき

本製品を使用しない(=PCカードスロットに本製品が挿入されていない、またはネッ トワークケーブルが接続されていないなど)ときはドライバーをアンロード(unload) しておくことをお勧めします。ドライバーがロードされたままだと、Windows NT は ネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアが起動してしまいます。この現 象はドライバーをアンロードすることによって回避できます。

#### ドライバーをアンロードする手順

- 1. ネットワーク(コントロールパネル)を起動します。
- 2. 「バインド」タブで本製品のアイコンを表示し、「無効」をクリックします。本製品 のアイコンが無効アイコンに変わります。
- 本製品にバインドしているすべてのプロトコルについて同じ手続きを行い、「OK」 をクリックし、ダイアログを閉じます。

ットワーク 891 [ サービス] 21	1126 79579 11	7587	?
キーパー NOW 10 // ・パロトは、たんび のべいり 10 // 10 // を定てすることが	日本一個日本1-5 日本通知時期 1-5月1-5月1-5 日本月1-5月1-5 日本月1-5月1-5	上になかったれ 一切中がかたで	ているキャリワークカート ング語って、ネックー 情報を映像する間が
小化作の表示型	T	t2.	•
	インターフェイス EUI 7日ト3巻 AI SH-ト P5セス W risk NetBOS EUI 7日ト3巻 JI Alled Telester AI SH-ト P5セス W risk IPS2/SPX 五清 risk NetBOS	LN83-RCM 7973 AN 35/5- LN83-RCM 7973 AN 35/5- F3/285-F	
有物助	素物型	上への	Trad

本製品をご使用中に障害が発生した場合は「LM33-PCM-T ユーザーズマニュアル」の「付録S 保証・ユーザーサポート」をご覧の上、弊社サポートセンターまでご連絡下さい。

この際、「調査依頼書 (「ユーザーズマニュアル」巻末)において、「3.ご使用のコンピュータの機種と搭載 OS」および「6.(電話回線接続時)」の「Windows 95」の記述はそれぞれ「Windows NT 4.0」に変更してお使いください。

### 4. 規格仕様

4.1 対応規格

(i) P( (ii) ネ	Cカード 、ットワークアダプター	PCMCIA F IEEE802.3	Release2.1	JEIDA Ver.4.2 以降 CSMA/CD 10BASE-T(R.I-45)
(iii) Ŧ	ミデム	Ethomot	01.2.0	
	通信プロトコル:	ITU-T	V.21, V.22 V.34 <sup>† 1</sup>	2, V.22bis, V.32, V.32bis,
		BELL Rockwell	103, 212/ V.FC	Ą
	エラー訂正プロトコル: データ圧縮プロトコル: その他:	V.42, MNI V.42bis, M MNP10	P2-4 /INP5	

†1オプションの 31,200bps・33,600bps を含む

(iv) ファクスモデム

通信プロトコル:	ITU-T	V.21ch2, V.27ter, V.29, V.17
		T.30
(v) 安全規格	VCCI-1	

(vi) アナログ電話端末 RJ-11, アナログ一般公衆回線

### 4.2 **ネットワーク機能**

(i)転送速度	10M bps
(ii)RAM バッファ	32K byte SRAM
(iii)I/O アドレス	300H, 320H, 340H, 360H
(iv)インタラプト	IRQ 3, 4, 5, 7, 9,10,11,15

52

## 4.3 モデム機能

(i)	通信速度	300, 1200, 2400, 4800, 7200, 9600,
		12000, 14400, 16800, 19200, 21600,
		24000, 26400, 28800, 31200, 33600 [bps]
(ii)	ファクス通信速度	300, 2400, 4800, 7200, 9600, 12000,
		14400 [bps]
(iii)	COM ポート	

ポート	
(i) 使用ポート	COM2, COM3
(ii) 転送速度	300, 600, 1200, 2400, 4800, 7200, 9600, 12000,
	14400, 19200, 38400, 57600, 115200 [bps]
(iii) I/O アドレス	2F8, 3E8

## 4.4 コマンド体系

AT コマンド, CLASS1, CLASS2 コマンド